

第6講 例題

1

- 【解答】 (1)  $2 \leq x \leq 6$  (2)  $x < -3, 6 < x$  (3)  $-1 < x < 8$   
 (4)  $x \leq 2 - \sqrt{7}, 2 + \sqrt{7} \leq x$  (5)  $\frac{3 - \sqrt{17}}{2} < x < \frac{3 + \sqrt{17}}{2}$   
 (6)  $x < 1 - \sqrt{2}, 1 + \sqrt{2} < x$  (7)  $x \leq -2 - \sqrt{10}, -2 + \sqrt{10} \leq x$

【解説】

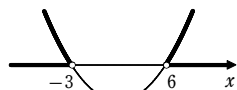
(1)  $x^2 - 8x + 12 = 0$  を解く。

左辺を因数分解すると  $(x-2)(x-6) = 0$   
 よって  $x = 2, 6$   
 したがって、この2次不等式の解は  
 $2 \leq x \leq 6$



(2)  $x^2 - 3x - 18 = 0$  を解くと  $x = -3, 6$

よって、 $x^2 - 3x - 18 > 0$  の解は  
 $x < -3, 6 < x$



(3) 両辺に  $-1$  を掛けて

$x^2 - 7x - 8 < 0$   
 $x^2 - 7x - 8 = 0$  を解くと  
 $x = -1, 8$   
 よって、 $-x^2 + 7x + 8 > 0$  の解は  
 $-1 < x < 8$



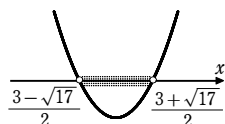
(4)  $x^2 - 4x - 3 = 0$  を解くと

$x = 2 \pm \sqrt{7}$   
 よって、 $x^2 - 4x - 3 \geq 0$  の解は  
 $x \leq 2 - \sqrt{7}, 2 + \sqrt{7} \leq x$



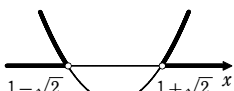
(5) 両辺に  $-1$  を掛けて  $x^2 - 3x - 2 < 0$

$x^2 - 3x - 2 = 0$  を解くと  
 $x = \frac{-(-3) \pm \sqrt{(-3)^2 - 4 \cdot 1 \cdot (-2)}}{2 \cdot 1} = \frac{3 \pm \sqrt{17}}{2}$   
 よって、不等式の解は  
 $\frac{3 - \sqrt{17}}{2} < x < \frac{3 + \sqrt{17}}{2}$



(6) 移項すると  $x^2 - 2x - 1 > 0$

$x^2 - 2x - 1 = 0$  を解くと  
 $x = \frac{-(-2) \pm \sqrt{(-2)^2 - 4 \cdot 1 \cdot (-1)}}{2} = 1 \pm \sqrt{2}$   
 よって、この2次不等式の解は  
 $x < 1 - \sqrt{2}, 1 + \sqrt{2} < x$



(7) 展開すると  $x^2 - 4x \leq 2x^2 - 6$

式を整理すると  $x^2 + 4x - 6 \geq 0$   
 $x^2 + 4x - 6 = 0$  を解くと  $x = -2 \pm \sqrt{10}$   
 よって、この2次不等式の解は  
 $x \leq -2 - \sqrt{10}, -2 + \sqrt{10} \leq x$



2

- 【解答】 (1)  $-5$  以外のすべての実数 (2) すべての実数 (3) 解はない  
 (4)  $x = \frac{1}{3}$  (5) すべての実数 (6) 解はない

【解説】

(1)  $x^2 + 10x + 25 = (x+5)^2$  であるから、不等式は  $(x+5)^2 > 0$   
 よって、解は  $-5$  以外のすべての実数

(2)  $x^2 - 12x + 36 = (x-6)^2$  であるから、不等式は  $(x-6)^2 \geq 0$   
 よって、解は すべての実数

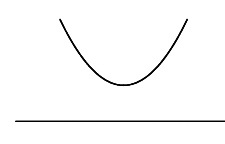
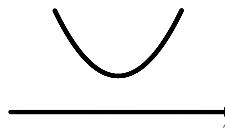
(3)  $4x^2 - 4x + 1 = (2x-1)^2$  であるから、不等式は  $(2x-1)^2 < 0$   
 よって、解は ない

(4) 整理すると  $9x^2 - 6x + 1 \leq 0$   
 $9x^2 - 6x + 1 = (3x-1)^2$  であるから、不等式は  $(3x-1)^2 \leq 0$   
 よって、解は  $x = \frac{1}{3}$

(5)  $2x^2 - 8x + 13 > 0$  について  
 $D = (-8)^2 - 4 \cdot 2 \cdot 13 = -40 < 0$

かつ、 $x^2$  の係数は正である。  
 よって、与えられた不等式の解は すべての実数

(6) 両辺を3で割って整理すると  $x^2 - 2x + 2 \leq 0$  について  
 $D = (-2)^2 - 4 \cdot 1 \cdot 2 = -4 < 0$   
 かつ、 $x^2$  の係数は正である。  
 よって、解はない



3

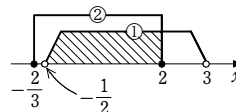
- 【解答】 (1)  $-\frac{1}{2} < x \leq 2$  (2)  $x \leq -4, \frac{1}{2} \leq x < 2 - \sqrt{2}, 2 + \sqrt{2} < x$

【解説】

(1)  $2x^2 - 5x - 3 < 0$  から  $(2x+1)(x-3) < 0$   
 よって  $-\frac{1}{2} < x < 3$  ……①

$3x^2 - 4x - 4 \leq 0$  から  $(3x+2)(x-2) \leq 0$   
 よって  $-\frac{2}{3} \leq x \leq 2$  ……②

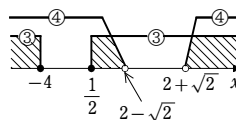
①, ②の共通範囲を求めて  $-\frac{1}{2} < x \leq 2$



(2)  $\begin{cases} 2-3x-2x^2 \leq 4x-2 & \dots\dots ① \\ 4x-2 < x^2 & \dots\dots ② \end{cases}$

①から  $2x^2 + 7x - 4 \geq 0$   
 よって  $(x+4)(2x-1) \geq 0$   
 ゆえに  $x \leq -4, \frac{1}{2} \leq x$  ……③

②から  $x^2 - 4x + 2 > 0$   
 これを解くと、 $x^2 - 4x + 2 = 0$  の解が  $x = 2 \pm \sqrt{2}$   
 であるから  $x < 2 - \sqrt{2}, 2 + \sqrt{2} < x$  ……④  
 ③, ④の共通範囲を求めて  
 $x \leq -4, \frac{1}{2} \leq x < 2 - \sqrt{2}, 2 + \sqrt{2} < x$



4

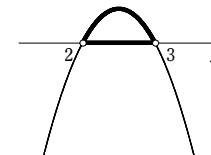
【解答】  $a = -1, b = -6$

【解説】

条件から、 $y = ax^2 + 5x + b$  のグラフは  $2 < x < 3$  の範囲で  $x$  軸より上方にある。

- すなわち、上に凸の放物線で、2点  $(2, 0), (3, 0)$  を通る  
 から  
 $a < 0$  ……①  
 $4a + 10 + b = 0$  ……②  
 $9a + 15 + b = 0$  ……③

②, ③を連立して解くと  
 $a = -1, b = -6$  これは①を満たす。



5

- 【解答】 (1)  $-2 < m < 2$  (2)  $-8 < m < 0$

【解説】

(1) 2次不等式  $x^2 - mx + 1 > 0$  の  $x^2$  の係数が正であるから、解がすべての実数であるための必要十分条件は  $D = (-m)^2 - 4 \cdot 1 < 0$

すなわち  $m^2 - 4 < 0$  これを解いて  $-2 < m < 2$

(2) 2次不等式  $-x^2 + mx + 2m < 0$  の  $x^2$  の係数が負であるから、解がすべての実数であるための必要十分条件は  $D = m^2 - 4 \cdot (-1) \cdot 2m < 0$

すなわち  $m(m+8) < 0$  これを解いて  $-8 < m < 0$

6

- 【解答】 (1)  $a < x < a+1$   
 (2)  $a < 2$  のとき  $x < a, 2 < x$ ;  $a = 2$  のとき  $2$  以外のすべての実数;  
 $2 < a$  のとき  $x < 2, a < x$

【解説】

(1)  $x^2 - (2a+1)x + a^2 + a < 0$  から  $(x-a)(x-(a+1)) < 0$   
 よって  $a < x < a+1$

(2)  $x^2 - (a+2)x + 2a > 0$  から  $(x-a)(x-2) > 0$   
 $a$  と  $2$  の大小で場合を分ける。

[1]  $a < 2$  のとき  $x < a, 2 < x$

[2]  $a = 2$  のとき

不等式は  $(x-2)^2 > 0$  となる。  
 よって、求める解は  $2$  以外のすべての実数

[3]  $2 < a$  のとき  $x < 2, a < x$

第6講 例題演習

1

解答 (1)  $x < -6, 1 < x$  (2)  $-5 \leq x \leq -3$  (3)  $x < 1, \frac{3}{2} < x$

(4)  $-\frac{1}{2} < x < 2$  (5)  $x < \frac{5-\sqrt{5}}{2}, \frac{5+\sqrt{5}}{2} < x$

(6)  $-2-\sqrt{2} \leq x \leq -2+\sqrt{2}$  (7)  $2-\sqrt{11} \leq x \leq 2+\sqrt{11}$

(8)  $2-\sqrt{3} \leq x \leq 2+\sqrt{3}$  (9)  $-\frac{5}{2} < x < 1$  (10)  $x < 0, 2 < x$

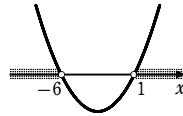
解説

(1)  $x^2+5x-6 > 0$ の左辺を因数分解して

$$(x+6)(x-1) > 0$$

したがって

$$x < -6, 1 < x$$

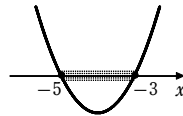


(2)  $x^2+8x+15 \leq 0$ の左辺を因数分解して

$$(x+5)(x+3) \leq 0$$

したがって

$$-5 \leq x \leq -3$$

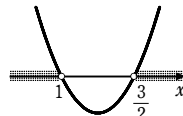


(3)  $2x^2-5x+3 > 0$ の左辺を因数分解して

$$(x-1)(2x-3) > 0$$

すなわち  $2(x-1)(x-\frac{3}{2}) > 0$

よって  $x < 1, \frac{3}{2} < x$



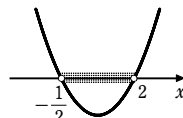
(4)  $2(x^2-1) < 3x$ から  $2x^2-3x-2 < 0$

左辺を因数分解して

$$(2x+1)(x-2) < 0$$

すなわち  $2(x+\frac{1}{2})(x-2) < 0$

よって  $-\frac{1}{2} < x < 2$



(5)  $-x^2+5x-5 < 0$ の両辺に  $-1$ を掛けて

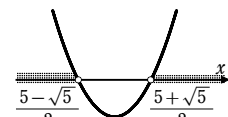
$$x^2-5x+5 > 0$$

$x^2-5x+5=0$ を解くと

$$x = \frac{-(-5) \pm \sqrt{(-5)^2 - 4 \cdot 1 \cdot 5}}{2 \cdot 1} = \frac{5 \pm \sqrt{5}}{2}$$

よって、不等式の解は

$$x < \frac{5-\sqrt{5}}{2}, \frac{5+\sqrt{5}}{2} < x$$

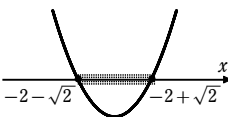


(6)  $x^2+4x+2=0$ を解くと

$$x = \frac{-2 \pm \sqrt{2^2 - 1 \cdot 2}}{1}$$

$$= -2 \pm \sqrt{2}$$

よって、不等式の解は



$$-2-\sqrt{2} \leq x \leq -2+\sqrt{2}$$

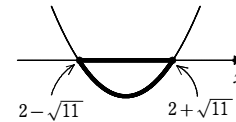
(7) 整理して  $-x^2+4x+7 \geq 0$

両辺に  $-1$ を掛けて  $x^2-4x-7 \leq 0$

$$x^2-4x-7=0$$
を解くと  $x=2 \pm \sqrt{11}$

よって、与えられた2次不等式の解は

$$2-\sqrt{11} \leq x \leq 2+\sqrt{11}$$



(8) 移項して整理すると  $x^2-4x+1 \leq 0$

$x^2-4x+1=0$ を解くと

$$x = \frac{-(-2) \pm \sqrt{(-2)^2 - 1 \cdot 1}}{1} = 2 \pm \sqrt{3}$$

よって、この2次不等式の解は

$$2-\sqrt{3} \leq x \leq 2+\sqrt{3}$$



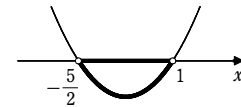
(9) 右辺を展開すると  $3x^2 < x^2-3x+5$

移項して整理すると  $2x^2+3x-5 < 0$

$2x^2+3x-5=0$ を解く。

左辺を因数分解すると  $(x-1)(2x+5)=0$

よって  $x=1, -\frac{5}{2}$



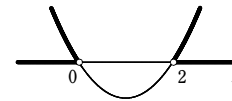
したがって、この2次不等式の解は  $-\frac{5}{2} < x < 1$

(10) 展開すると  $4x^2+4x+1+24 > x^2+10x+25$

式を整理すると  $x^2-2x > 0$

$x^2-2x=0$ を解くと  $x=0, 2$

よって、この2次不等式の解は  $x < 0, 2 < x$



2

解答 (1) 4以外すべての実数 (2)  $x = -\frac{1}{2}$  (3) すべての実数

(4) 解はない

解説

(1)  $x^2-8x+16=(x-4)^2$ から、不等式は  $(x-4)^2 > 0$

よって、解は 4以外すべての実数

(2)  $4x^2+4x+1=(2x+1)^2$ から、不等式は  $(2x+1)^2 \leq 0$

よって、解は  $x = -\frac{1}{2}$

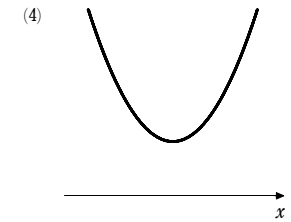
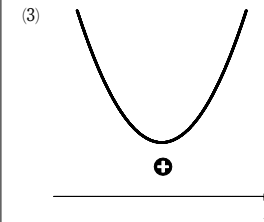
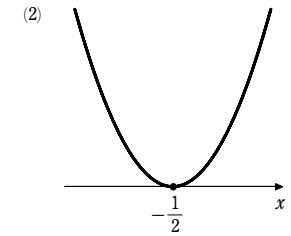
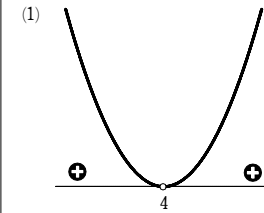
(3)  $x^2-4x+8=(x-2)^2+4$ から、不等式は  $(x-2)^2+4 \geq 0$

よって、解は すべての実数

(4) 不等式の両辺に  $-1$ を掛けて  $3x^2-12x+13 \leq 0$

$3x^2-12x+13=3(x-2)^2+1$ から、不等式は  $3(x-2)^2+1 \leq 0$

よって、解は ない



3

解答 (1)  $1 < x < 3, 4 < x < 5$  (2)  $x \leq -4, 3 < x$  (3)  $2-\sqrt{3} \leq x \leq 2+\sqrt{3}$

(4)  $-2 < x \leq 2, 4 \leq x < 8$

解説

$$(1) \begin{cases} x^2-6x+5 < 0 & \dots\dots ① \\ x^2-7x+12 > 0 & \dots\dots ② \end{cases}$$

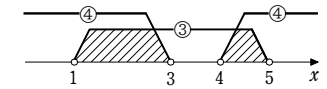
①から  $(x-1)(x-5) < 0$

よって  $1 < x < 5$  ……③

②から  $(x-3)(x-4) > 0$

よって  $x < 3, 4 < x$  ……④

③と④の共通範囲を求めて  $1 < x < 3, 4 < x < 5$



$$(2) \begin{cases} x^2+4x \geq 0 & \dots\dots ① \\ x^2-9 > 0 & \dots\dots ② \end{cases}$$

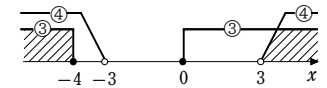
①から  $x(x+4) \geq 0$

よって  $x \leq -4, 0 \leq x$  ……③

②から  $(x+3)(x-3) > 0$

よって  $x < -3, 3 < x$  ……④

③と④の共通範囲を求めて  $x \leq -4, 3 < x$



$$(3) \begin{cases} 1-4x+x^2 \leq 0 & \dots\dots ① \\ -3x^2+11x+4 > 0 & \dots\dots ② \end{cases}$$

①から  $x^2-4x+1 \leq 0$

$x^2-4x+1=0$ を解くと  $x=2 \pm \sqrt{3}$

よって、①の解は  $2-\sqrt{3} \leq x \leq 2+\sqrt{3}$  ……③

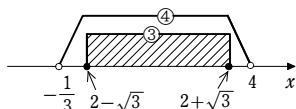
②から  $3x^2-11x-4 < 0$

$3x^2 - 11x - 4 = 0$  を解くと  $x = -\frac{1}{3}, 4$

よって、②の解は  $-\frac{1}{3} < x < 4$  ……④

③と④の共通範囲を求めて

$$2 - \sqrt{3} \leq x \leq 2 + \sqrt{3}$$



(4)  $-8 \leq x^2 - 6x < 16$  から

$$\begin{cases} -8 \leq x^2 - 6x & \dots\dots ① \\ x^2 - 6x < 16 & \dots\dots ② \end{cases}$$

①から  $x^2 - 6x + 8 \geq 0$  よって  $(x-2)(x-4) \geq 0$

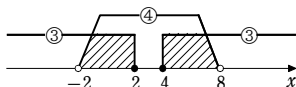
ゆえに  $x \leq 2, 4 \leq x$  ……③

②から  $x^2 - 6x - 16 < 0$

よって  $(x+2)(x-8) < 0$

ゆえに  $-2 < x < 8$  ……④

③と④の共通範囲を求めて  $-2 < x \leq 2, 4 \leq x < 8$

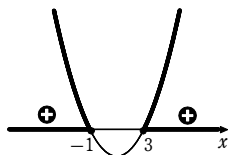


4

解答 (1)  $a = -2, b = -3$  (2)  $a = -2, b = 4$

解説

(1) 条件から、2次関数  $y = x^2 + ax + b$  のグラフは、 $x \leq -1, 3 \leq x$  のときだけ  $x$  軸を含む上側にある。すなわち、下に凸の放物線で2点  $(-1, 0), (3, 0)$  を通るから



$$1 - a + b = 0, 9 + 3a + b = 0$$

これを解いて  $a = -2, b = -3$

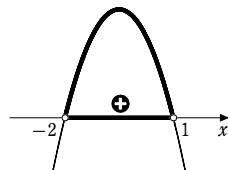
別解  $x \leq -1, 3 \leq x$  を解とする2次不等式の1つは

$$(x+1)(x-3) \geq 0$$

左辺を展開して  $x^2 - 2x - 3 \geq 0$

$x^2$  の係数は1であるから、 $x^2 + ax + b \geq 0$  の係数と比較して  $a = -2, b = -3$

(2) 条件から、2次関数  $y = ax^2 - 2x + b$  のグラフは、 $-2 < x < 1$  のときだけ  $x$  軸の上側にある。すなわち、上に凸の放物線で2点  $(-2, 0), (1, 0)$  を通るから



$$a < 0, 0 = 4a + 4 + b \dots\dots ①$$

$$0 = a - 2 + b \dots\dots ②$$

①, ②を解いて  $a = -2, b = 4$

これは、 $a < 0$  を満たす。

5

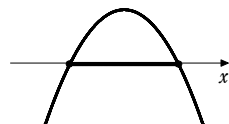
解答 (1)  $1 - 2\sqrt{3} < m < 1 + 2\sqrt{3}$  (2)  $m \leq -1, 0 \leq m$

解説

(1)  $x^2$  の係数は正であるから、この2次不等式の解がすべての実数となるための必要十分条件は  $D = \{-(m-1)\}^2 - 4 \cdot 1 \cdot 3 < 0$  すなわち  $m^2 - 2m - 11 < 0$

これを解いて  $1 - 2\sqrt{3} < m < 1 + 2\sqrt{3}$

(2) この2次不等式が解をもつための必要十分条件は、 $y = -x^2 + 2mx + m$  のグラフが  $x$  軸と共有点をもつことである。



すなわち  $D = (2m)^2 - 4 \cdot (-1) \cdot m \geq 0$

よって  $4(m^2 + m) \geq 0$

ゆえに  $m(m+1) \geq 0$   
したがって  $m \leq -1, 0 \leq m$

6

- 解答 (1)  $a > -1$  のとき  $x < -a, 1 < x$   
 $a = -1$  のとき 1 以外のすべての実数  
 $a < -1$  のとき  $x < 1, -a < x$   
 (2)  $a > 0$  のとき  $-a \leq x \leq 2a, a = 0$  のとき  $x = 0$   
 $a < 0$  のとき  $2a \leq x \leq -a$

解説

(1) 左辺を因数分解すると  $(x+a)(x-1) > 0$  ……①

[1]  $-a < 1$  すなわち  $a > -1$  のとき

①の解は  $x < -a, 1 < x$

[2]  $-a = 1$  すなわち  $a = -1$  のとき

①は  $(x-1)^2 > 0$  となり、解は 1 以外のすべての実数。

[3]  $-a > 1$  すなわち  $a < -1$  のとき

①の解は  $x < 1, -a < x$

(2) 左辺を因数分解すると  $(x+a)(x-2a) \leq 0$  ……①

[1]  $-a < 2a$  すなわち  $a > 0$  のとき

①の解は  $-a \leq x \leq 2a$

[2]  $-a = 2a$  すなわち  $a = 0$  のとき

①は  $x^2 \leq 0$  となり、解は  $x = 0$

[3]  $-a > 2a$  すなわち  $a < 0$  のとき

①の解は  $2a \leq x \leq -a$

1

解答 (1)  $x < -5, 4 < x$  (2)  $x \leq -2, 0 \leq x$

解説

(1) [1]  $x \geq 1$  のとき  $x^2 - 3(x-1) > 7$

よって  $x^2 - 3x - 4 > 0$

ゆえに  $(x+1)(x-4) > 0$

よって  $x < -1, 4 < x$

$x \geq 1$  との共通範囲は  $x > 4$  ……①

[2]  $x < 1$  のとき  $x^2 + 3(x-1) > 7$

よって  $x^2 + 3x - 10 > 0$

ゆえに  $(x+5)(x-2) > 0$

よって  $x < -5, 2 < x$

$x < 1$  との共通範囲は  $x < -5$  ……②

求める解は、①と②を合わせた範囲で  $x < -5, 4 < x$

(2)  $x^2 - 2x - 3 = (x+1)(x-3)$  であるから

$x^2 - 2x - 3 \geq 0$  の解は  $x \leq -1, 3 \leq x$

$x^2 - 2x - 3 < 0$  の解は  $-1 < x < 3$

[1]  $x \leq -1, 3 \leq x$  のとき、不等式は

$$x^2 - 2x - 3 \geq 3 - x$$

ゆえに  $x^2 - x - 6 \geq 0$

よって  $(x+2)(x-3) \geq 0$

したがって  $x \leq -2, 3 \leq x$  ……①

これは  $x \leq -1, 3 \leq x$  を満たす。

[2]  $-1 < x < 3$  のとき、不等式は

$$-(x^2 - 2x - 3) \geq 3 - x$$

ゆえに  $x^2 - 3x \leq 0$

よって  $x(x-3) \leq 0$

したがって  $0 \leq x \leq 3$

$-1 < x < 3$  との共通範囲は  $0 \leq x < 3$  ……②

求める解は、①と②を合わせた範囲で  $x \leq -2, 0 \leq x$

別解 不等式から  $x^2 - 2x - 3 \leq -(3-x)$  または  $3-x \leq x^2 - 2x - 3$

$x^2 - 2x - 3 \leq -(3-x)$  を解くと  $0 \leq x \leq 3$  ……①

$3-x \leq x^2 - 2x - 3$  を解くと  $x \leq -2, 3 \leq x$  ……②

求める解は、①と②を合わせた範囲で  $x \leq -2, 0 \leq x$

2

解答  $m < 2, 10 < m$  のとき 2 個、 $m = 2, 10$  のとき 1 個、 $2 < m < 10$  のとき 0 個

解説

$y = x^2 + (m-4)x + m - 1$  について

$$D = (m-4)^2 - 4 \cdot 1 \cdot (m-1) = m^2 - 12m + 20$$

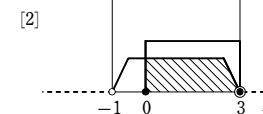
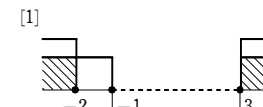
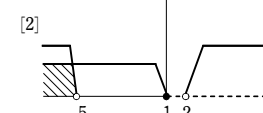
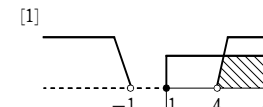
$$= (m-2)(m-10)$$

この符号を調べると

$m < 2, 10 < m$  のとき  $D > 0$  このとき、共有点の個数は 2 個

$m = 2, 10$  のとき  $D = 0$  このとき、共有点の個数は 1 個

$2 < m < 10$  のとき  $D < 0$  このとき、共有点の個数は 0 個



3

【解答】 (1)  $p \leq -2, 2 \leq p$  (2)  $p \leq 0, 4 \leq p$  (3)  $p \leq -2, 4 \leq p$   
 (4)  $p \leq 0, 2 \leq p$

【解説】

2つの2次方程式  $x^2 + px + 1 = 0$  ……①,  $x^2 + px + p = 0$  ……② の判別式をそれぞれ  $D_1, D_2$  とすると  $D_1 = p^2 - 4 \cdot 1 \cdot 1 = p^2 - 4$

$D_2 = p^2 - 4 \cdot 1 \cdot p = p^2 - 4p$

(1) ①が実数解をもつための必要十分条件は

$D_1 \geq 0$  すなわち  $p^2 - 4 \geq 0$

よって  $(p+2)(p-2) \geq 0$  ゆえに  $p \leq -2, 2 \leq p$  ……③

(2) ②が実数解をもつための必要十分条件は

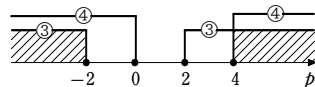
$D_2 \geq 0$  すなわち  $p^2 - 4p \geq 0$

よって  $p(p-4) \geq 0$  ゆえに  $p \leq 0, 4 \leq p$  ……④

(3) ①, ②がともに実数解をもつための必要十分条件は

$D_1 \geq 0$  かつ  $D_2 \geq 0$

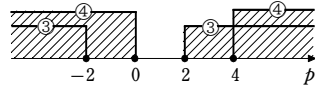
よって, ③と④の共通範囲を求めて  $p \leq -2, 4 \leq p$



(4) ①, ②のうち, 少なくとも一方が実数解をもつための必要十分条件は

$D_1 \geq 0$  または  $D_2 \geq 0$

よって, ③または④の範囲を求めて  $p \leq 0, 2 \leq p$



4

【解答】  $a > 1$

【解説】

この2次不等式の解がすべての実数であるための必要十分条件は

$x^2$ の係数について  $a > 0$  ……①

かつ  $D = (a-1)^2 - 4 \cdot a(a-1) < 0$  ……②

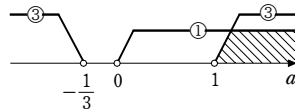
②から  $(a-1)((a-1)-4a) < 0$

すなわち  $(a-1)(-3a-1) < 0$

よって  $(a-1)(3a+1) > 0$

ゆえに  $a < -\frac{1}{3}, 1 < a$  ……③

①と③の共通範囲を求めて  $a > 1$



5

【解答】 (ア) -8 (イ) 15

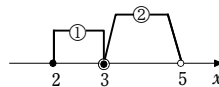
【解説】

不等式①から  $(x-2)(x-3) \leq 0$  これを解いて  $2 \leq x \leq 3$

①, ②を同時に満たす  $x$ の値はなく, ①または②を満たす  $x$ の値の範囲が  $2 \leq x < 5$ であるから,

不等式②の解は  $3 < x < 5$  ……[A]

となる。



[A]は, 2次関数  $y = x^2 + ax + b$ のグラフが  $3 < x < 5$ のときだけ  $x$ 軸の下側にあること, すなわち下に凸の放物線が2点(3, 0), (5, 0)を通ることと同じである。

ゆえに  $3^2 + 3a + b = 0$  ……③

$5^2 + 5a + b = 0$  ……④

④-③から  $2a + 16 = 0$

よって  $a = -8$

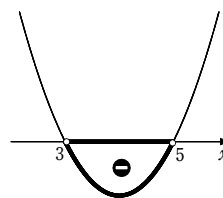
これを③に代入して  $9 - 24 + b = 0$

よって  $b = 15$

【別解】(後半)  $3 < x < 5$ を解とする2次不等式の1つは  $(x-3)(x-5) < 0$

左辺を展開して  $x^2 - 8x + 15 < 0$  ……⑤

②と⑤の係数を比較して  $a = -8, b = 15$



6

【解答】  $-2 < a < 1$ のとき  $a^2 \leq x \leq -a+2$ ;  $a = -2$ のとき  $x = 4$ ;

$a = 1$ のとき  $x = 1$ ;  $a < -2, 1 < a$ のとき  $-a+2 \leq x \leq a^2$

【解説】

不等式から  $x^2 - (a^2 - a + 2)x - a^2(a-2) \leq 0$  したがって  $(x-a^2)(x+(a-2)) \leq 0$  ……①

$$\begin{array}{l} 1 \quad -a^2 \rightarrow -a^2 \\ 1 \quad a-2 \rightarrow a-2 \\ \hline -a^2 + a - 2 \end{array}$$

[1]  $a^2 < -(a-2)$ のとき

$a^2 + a - 2 < 0$ から  $(a+2)(a-1) < 0$

よって  $-2 < a < 1$

このとき, ①の解は  $a^2 \leq x \leq -a+2$

[2]  $a^2 = -(a-2)$ のとき

$a^2 + a - 2 = 0$ から  $(a+2)(a-1) = 0$

よって  $a = -2, 1$

$a = -2$ のとき ①は  $(x-4)^2 \leq 0$ となり  $x = 4$

$a = 1$ のとき ①は  $(x-1)^2 \leq 0$ となり  $x = 1$

[3]  $a^2 > -(a-2)$ のとき

$a^2 + a - 2 > 0$ から  $(a+2)(a-1) > 0$

よって  $a < -2, 1 < a$

このとき, ①の解は  $-a+2 \leq x \leq a^2$

以上から  $-2 < a < 1$ のとき  $a^2 \leq x \leq -a+2$

$a = -2$ のとき  $x = 4$

$a = 1$ のとき  $x = 1$

$a < -2, 1 < a$ のとき  $-a+2 \leq x \leq a^2$

1

【解答】  $x < -\sqrt{5}, -\frac{1}{\sqrt{2}} < x < \frac{1}{\sqrt{2}}, \sqrt{5} < x$

【解説】

$x^2 = t$ とおくと, 不等式は  $2t^2 - 11t + 5 > 0$

ゆえに  $(t-5)(2t-1) > 0$  これを解くと  $t < \frac{1}{2}, 5 < t$

$x^2 \geq 0$ であるから  $t \geq 0$

よって  $0 \leq t < \frac{1}{2}, 5 < t$  すなわち  $0 \leq x^2 < \frac{1}{2}, 5 < x^2$

$0 \leq x^2 < \frac{1}{2}$ を解くと

$0 \leq x^2$ から  $x$ はすべての実数

$x^2 < \frac{1}{2}$ から  $x^2 - \frac{1}{2} < 0$  因数分解して  $(x + \frac{1}{\sqrt{2}})(x - \frac{1}{\sqrt{2}}) < 0$

ゆえに  $-\frac{1}{\sqrt{2}} < x < \frac{1}{\sqrt{2}}$

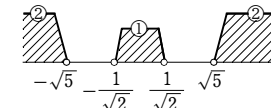
よって,  $0 \leq x^2 < \frac{1}{2}$ の解は  $-\frac{1}{\sqrt{2}} < x < \frac{1}{\sqrt{2}}$  ……①

$5 < x^2$ を解くと  $x^2 - 5 > 0$  因数分解して  $(x + \sqrt{5})(x - \sqrt{5}) > 0$

ゆえに  $x < -\sqrt{5}, \sqrt{5} < x$  ……②

よって, ①と②の範囲を合わせて

$x < -\sqrt{5}, -\frac{1}{\sqrt{2}} < x < \frac{1}{\sqrt{2}}, \sqrt{5} < x$



2

【解答】  $x = 2, y = 0$ で最大値12,  $x = -1, y = \pm\sqrt{3}$ で最小値-6

【解説】

$x^2 + y^2 = 4$ から  $y^2 = 4 - x^2$  ……①

$y^2 \geq 0$ であるから  $4 - x^2 \geq 0$

よって  $(x+2)(x-2) \leq 0$  ゆえに  $-2 \leq x \leq 2$  ……②

$x^2 - y^2 + 4x = x^2 - (4 - x^2) + 4x$

$= 2x^2 + 4x - 4 = 2(x+1)^2 - 6$

よって, ②の範囲の  $x$ について,  $x^2 - y^2 + 4x$ は

$x = 2$ で最大値12,

$x = -1$ で最小値-6をとる。

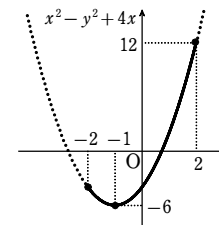
①から

$x = 2$ のとき  $y^2 = 0$  よって  $y = 0$

$x = -1$ のとき  $y^2 = 3$  よって  $y = \pm\sqrt{3}$

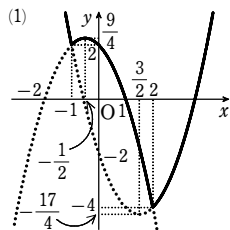
したがって  $x = 2, y = 0$ で最大値12

$x = -1, y = \pm\sqrt{3}$ で最小値-6



3

- 〔解答〕 (1) 〔図〕  
 (2)  $k < -4$  のとき 0 個;  $k = -4$  のとき 1 個;  
 $-4 < k < 2, \frac{9}{4} < k$  のとき 2 個;  
 $k = 2, \frac{9}{4}$  のとき 3 個;  $2 < k < \frac{9}{4}$  のとき 4 個

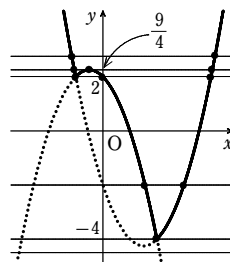
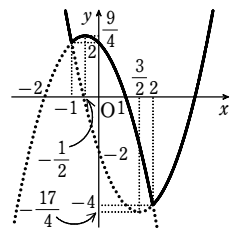


〔解説〕

- (1)  $x^2 - x - 2 = (x+1)(x-2)$  であるから  
 $x \leq -1, 2 \leq x$  のとき  
 $y = (x^2 - x - 2) - 2x = x^2 - 3x - 2$   
 $= (x - \frac{3}{2})^2 - \frac{17}{4}$   
 $-1 < x < 2$  のとき  
 $y = -(x^2 - x - 2) - 2x = -x^2 - x + 2$   
 $= -(x + \frac{1}{2})^2 + \frac{9}{4}$

よって、グラフは図の実線部分である。

- (2) 方程式を変形して  $|x^2 - x - 2| - 2x = k$   
 よって、(1) で求めたグラフと直線  $y = k$  の共有点を調べて  
 $k < -4$  のとき 0 個  
 $k = -4$  のとき 1 個  
 $-4 < k < 2, \frac{9}{4} < k$  のとき 2 個  
 $k = 2, \frac{9}{4}$  のとき 3 個  
 $2 < k < \frac{9}{4}$  のとき 4 個



4

- 〔解答〕 (1) ①の解は  $a < x < a + 3$ ;  
 ②の解は  $0 < a < \frac{3}{4}$  のとき  $2a - 3 < x < -2a, a = \frac{3}{4}$  のとき解はない,  
 $\frac{3}{4} < a < 4$  のとき  $-2a < x < 2a - 3$   
 (2)  $3 < a < 4$  (3)  $0 < a \leq \frac{7}{2}$

〔解説〕

- (1) ①から  $(x-a)\{x-(a+3)\} < 0$   
 $a < a + 3$  であるから、①の解は  $a < x < a + 3$  ……③  
 ②から  $(x+2a)\{x-(2a-3)\} < 0$   
 $-2a > 2a - 3, -2a = 2a - 3, -2a < 2a - 3$  を満たす  $a$  の値または  $a$  の値の範囲は、  
 それぞれ  $a < \frac{3}{4}, a = \frac{3}{4}, a > \frac{3}{4}$   
 よって、 $0 < a < 4$  に注意して、②の解は

- $0 < a < \frac{3}{4}$  のとき  $2a - 3 < x < -2a$  ……④  
 $a = \frac{3}{4}$  のとき、 $(x + \frac{3}{2})^2 < 0$  となり 解はない ……⑤  
 $\frac{3}{4} < a < 4$  のとき  $-2a < x < 2a - 3$  ……⑥

- (2)  $-2a < 0 < a$  であるから、③、④を同時に満たす  $x$  は存在しない。  
 また、③、⑤を同時に満たす  $x$  も存在しない。  
 ③、⑥を同時に満たす  $x$  が存在するのは、 $a < 2a - 3$  のときである。  
 $a < 2a - 3$  を解くと  $a > 3$   
 よって、 $a > 3$  と  $\frac{3}{4} < a < 4$  の共通範囲を求めて  $3 < a < 4$   
 (3) [1] (2)と同様に考えると、 $2a - 3 \leq a$  すなわち  $0 < a \leq 3$  のとき①、②を同時に満たす  $x$  は存在しない。すなわち、題意を満たす。  
 [2]  $3 < a < 4$  のとき、 $3 < a$  から  $a + 3 < 2a$  よって  $a < 2a - 3$   
 また、 $2 \cdot 3 - 3 < 2a - 3 < 2 \cdot 4 - 3$  から  $3 < 2a - 3 < 5$  ……⑦  
 $3 + 3 < a + 3 < 4 + 3$  から  $6 < a + 3 < 7$  ……⑧  
 ⑦、⑧から  $2a - 3 < a + 3$   
 よって、①、②を同時に満たす  $x$  の範囲は  $a < x < 2a - 3$   
 このとき、題意を満たすための条件は  $2a - 3 \leq 4$  ゆえに  $a \leq \frac{7}{2}$   
 $3 < a < 4$  との共通範囲を求めて  $3 < a \leq \frac{7}{2}$   
 [1]、[2]を合わせて、求める範囲は  $0 < a \leq \frac{7}{2}$

5

〔解答〕  $a = 15$

〔解説〕

- $6x^2 - (16a + 7)x + (2a + 1)(5a + 2) < 0$  から  $\{2x - (2a + 1)\}\{3x - (5a + 2)\} < 0$   
 よって  $(x - \frac{2a+1}{2})(x - \frac{5a+2}{3}) < 0$  ……①  
 ここで  $\frac{5a+2}{3} - \frac{2a+1}{2} = \frac{4a+1}{6} > 0$  ( $a > 0$  から)  
 ゆえに  $\frac{2a+1}{2} < \frac{5a+2}{3}$   
 したがって、①を解くと  $\frac{2a+1}{2} < x < \frac{5a+2}{3}$  ……②  
 これを満たす整数  $x$  が 10 個であるためには、 $9 < \frac{5a+2}{3} - \frac{2a+1}{2} \leq 11$  であることが必要である。  
 このとき  $9 < \frac{4a+1}{6} \leq 11$  すなわち  $\frac{53}{4} < a \leq \frac{65}{4}$   
 $a$  は整数であるから  $14 \leq a \leq 16$   
 [1]  $a = 14$  のとき、②から  $\frac{29}{2} < x < 24$   
 これを満たす整数  $x$  は 9 個ある。  
 [2]  $a = 15$  のとき、②から  $\frac{31}{2} < x < \frac{77}{3}$   
 これを満たす整数  $x$  は 10 個ある。

- [3]  $a = 16$  のとき、②から  $\frac{33}{2} < x < \frac{82}{3}$   
 これを満たす整数  $x$  は 11 個ある。  
 [1] ~ [3] から、求める整数  $a$  の値は  $a = 15$

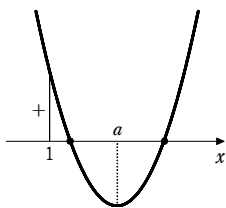
第7講 例題

1

解答 (1)  $2 < a < \sqrt{5}$  (2)  $m > 10$

解説

(1)  $f(x) = x^2 - 2ax + 2a^2 - 5$  とする。  
 $y = f(x)$  のグラフは下に凸の放物線で、軸は直線  $x = a$  である。  
 このグラフが  $x$  軸の  $x > 1$  の部分と、異なる2点で交わるのは



$$\begin{cases} D = (-2a)^2 - 4 \cdot 1 \cdot (2a^2 - 5) > 0 & \dots\dots ① \\ f(1) = 1 - 2a + 2a^2 - 5 > 0 & \dots\dots ② \\ \text{軸について } a > 1 & \dots\dots ③ \end{cases}$$

の3つが同時に成り立つときである。

①から  $-4(a^2 - 5) > 0$

よって  $a^2 - 5 < 0$

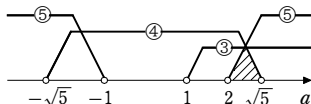
これを解いて  $-\sqrt{5} < a < \sqrt{5}$  ..... ④

②から  $2(a^2 - a - 2) > 0$

よって  $a^2 - a - 2 > 0$

これを解いて  $a < -1, 2 < a$  ..... ⑤

③, ④, ⑤の共通範囲を求めて  $2 < a < \sqrt{5}$



(2)  $f(x) = x^2 - (m-4)x + m - 1$  とおく。

2次方程式  $f(x) = 0$  の判別式を  $D$  とすると

$$\begin{aligned} D &= [-(m-4)]^2 - 4 \cdot 1 \cdot (m-1) \\ &= m^2 - 12m + 20 = (m-2)(m-10) \end{aligned}$$

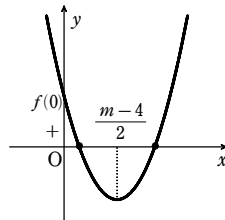
放物線  $y = f(x)$  は下に凸で、軸は直線  $x = \frac{m-4}{2}$  である。

方程式  $f(x) = 0$  が異なる2つの正の解をもつことと、放物線  $y = f(x)$  が  $x$  軸の正の部分と異なる2点で交わることは同じである。  
 したがって、次の3つが同時に成り立てばよい。

$D > 0$  ..... ①

$f(0) = m - 1 > 0$  ..... ②

軸について  $\frac{m-4}{2} > 0$  ..... ③



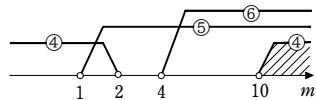
①から  $(m-2)(m-10) > 0$

よって  $m < 2, 10 < m$  ..... ④

②から  $m > 1$  ..... ⑤

③から  $m > 4$  ..... ⑥

④, ⑤, ⑥の共通範囲を求めて  $m > 10$



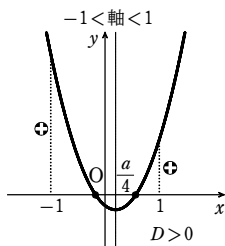
2

解答  $-\frac{1}{2} < a < 4 - 2\sqrt{2}$

解説

判別式を  $D$  とし、 $f(x) = 2x^2 - ax + a - 1$  とする。  
 題意を満たすための条件は、放物線  $y = f(x)$  が  $x$  軸の  $-1 < x < 1$  の部分と、異なる2点で交わることである。  
 したがって、次の[1]~[4]が同時に成り立つ。

[1]  $D = (-a)^2 - 4 \cdot 2(a-1) = a^2 - 8a + 8 > 0$   
 $a^2 - 8a + 8 = 0$  を解くと  $a = 4 \pm 2\sqrt{2}$   
 よって、 $a^2 - 8a + 8 > 0$  の解は  
 $a < 4 - 2\sqrt{2}, 4 + 2\sqrt{2} < a$  ..... ①

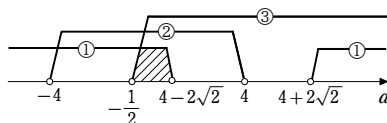


[2] 放物線の軸は直線  $x = \frac{a}{4}$  で、この軸について  
 $-1 < \frac{a}{4} < 1$  よって  $-4 < a < 4$  ..... ②

[3]  $f(-1) > 0$  から  $2 \cdot (-1)^2 - a \cdot (-1) + a - 1 > 0$

よって  $a > -\frac{1}{2}$  ..... ③

[4]  $f(1) > 0$  から  
 $2 \cdot 1^2 - a \cdot 1 + a - 1 = 1 > 0$   
 これは常に成り立つ。



①~③の共通範囲から  
 $-\frac{1}{2} < a < 4 - 2\sqrt{2}$

3

解答 (1)  $a > 3$  (2)  $a < -\frac{9}{2}$

解説

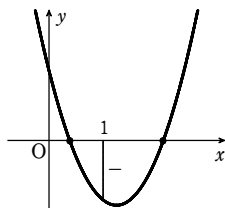
(1)  $f(x) = x^2 - 2ax + a + 2$  とする。

放物線  $y = f(x)$  と  $x$  軸が  $x < 1$  と  $x > 1$  のそれぞれの範囲において1点ずつ交わるのは

$$f(1) = -a + 3 < 0$$

が成り立つときである。

よって  $a > 3$



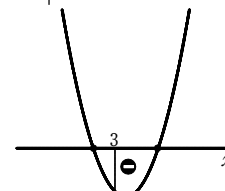
(2)  $f(x) = 2x^2 + ax + a$  とする。

$f(x) = 0$  が3より大きい解と3より小さい解をもつための条件は  $f(3) < 0$

ゆえに  $2 \cdot 3^2 + a \cdot 3 + a < 0$

整理して  $2a + 9 < 0$

したがって  $a < -\frac{9}{2}$



4

解答  $\frac{5}{2} < a < \frac{10}{3}$

解説

$f(x) = x^2 - ax + 1$  とおく。

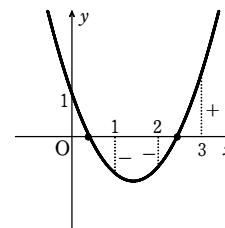
$y = f(x)$  のグラフは下に凸の放物線で、 $f(0) = 1 > 0$  であるから、2次方程式  $f(x) = 0$  の1つの解が0と1の間にあり、他の解が2と3の間にあるのは

$$f(1) < 0 \text{ かつ } f(2) < 0 \text{ かつ } f(3) > 0$$

のときである。

よって  $2 - a < 0, 5 - 2a < 0, 10 - 3a > 0$

これを解いて  $\frac{5}{2} < a < \frac{10}{3}$



5

解答  $0 < a < 4$

解説

求める条件は、 $0 \leq x \leq 2$  の範囲における

$f(x) = x^2 - 2ax + 3a$  の最小値が正であることである。

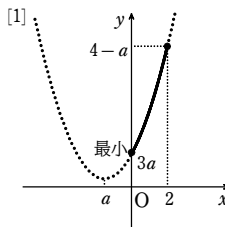
$f(x) = (x-a)^2 - a^2 + 3a$  であるから、軸は直線  $x = a$

[1]  $a < 0$  のとき

$f(x)$  は  $x = 0$  で最小となる。

よって  $f(0) = 3a > 0$

これは、 $a < 0$  を満たさない。



[2]  $0 \leq a \leq 2$  のとき

$f(x)$  は  $x = a$  で最小となる。

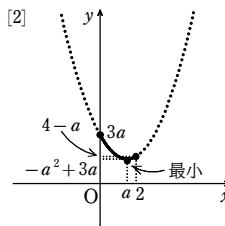
よって  $f(a) = -a^2 + 3a > 0$

すなわち  $a^2 - 3a < 0$

これを解くと、 $a(a-3) < 0$  から  $0 < a < 3$

これと  $0 \leq a \leq 2$  の共通範囲は

$0 < a \leq 2$  ..... ①



[3]  $2 < a$  のとき

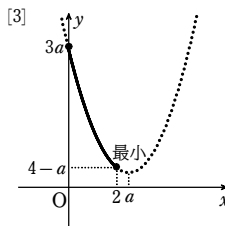
$f(x)$  は  $x = 2$  で最小となる。

よって  $f(2) = 4 - a > 0$

ゆえに  $a < 4$

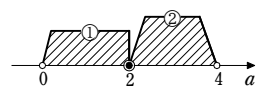
これと  $2 < a$  の共通範囲は

$2 < a < 4$  ..... ②



求める  $a$  の値の範囲は、①と②を合わせて

$0 < a < 4$



第7講 例題演習

1

【解答】 (1) (ア)  $m < -2\sqrt{2}$  (イ)  $2\sqrt{2} < m < 3$  (2)  $m > 2$

(3) (ア)  $m > 3$  (イ)  $m < -1, 3 < m < \frac{19}{6}$

【解説】

(1)  $f(x) = x^2 + mx + 2$  とおく。

$y = f(x)$  のグラフは下に凸の放物線で、軸は直線  $x = -\frac{m}{2}$  である。

(ア)  $y = f(x)$  のグラフと  $x$  軸の正の部分が異なる2点で交わるのは

$$D = m^2 - 4 \cdot 1 \cdot 2 > 0 \quad \dots\dots ①$$

$$\text{軸について } -\frac{m}{2} > 0 \quad \dots\dots ②$$

$$f(0) = 2 > 0 \quad \dots\dots ③$$

の3つが同時に成り立つときである。

$$① \text{ から } m^2 - 8 > 0$$

$$\text{すなわち } (m + 2\sqrt{2})(m - 2\sqrt{2}) > 0$$

$$\text{ゆえに } m < -2\sqrt{2}, 2\sqrt{2} < m \quad \dots\dots ④$$

$$② \text{ から } m < 0 \quad \dots\dots ⑤$$

③ は常に成り立つ。

よって、④、⑤の共通範囲を求めて  $m < -2\sqrt{2}$

(イ)  $y = f(x)$  のグラフと  $x$  軸の  $x < -1$  の部分が異なる2点で交わるのは

$$D = m^2 - 4 \cdot 1 \cdot 2 > 0 \quad \dots\dots ①$$

$$\text{軸について } -\frac{m}{2} < -1 \quad \dots\dots ②$$

$$f(-1) = 1 - m + 2 > 0 \quad \dots\dots ③$$

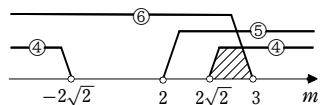
の3つが同時に成り立つときである。

$$① \text{ から } m < -2\sqrt{2}, 2\sqrt{2} < m \quad \dots\dots ④$$

$$② \text{ から } m > 2 \quad \dots\dots ⑤$$

$$③ \text{ から } m < 3 \quad \dots\dots ⑥$$

よって、④、⑤、⑥の共通範囲を求めて  $2\sqrt{2} < m < 3$



(2)  $f(x) = x^2 + 2(m-1)x + 3 - m$  とする。

これを变形すると

$$f(x) = (x + (m-1))^2 - m^2 + m + 2$$

$y = f(x)$  のグラフは下に凸の放物線で、軸は直線  $x = 1 - m$  である。

また  $D = [2(m-1)]^2 - 4 \cdot 1 \cdot (3 - m)$

$$= 4(m^2 - m - 2)$$

$$= 4(m+1)(m-2)$$

放物線  $y = f(x)$  が  $x$  軸の  $x < 1$  の部分と、異なる2点で交わるのは、次の [1], [2], [3] が同時に成り立つときである。

[1] グラフが  $x$  軸と異なる2点で交わる。

$D > 0$  から

$$m < -1, 2 < m \quad \dots\dots ①$$

[2] 軸  $x = 1 - m$  について  $1 - m < 1$

$$\text{すなわち } m > 0 \quad \dots\dots ②$$

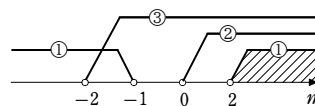
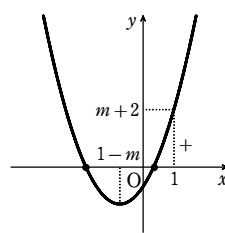
[3]  $f(1) > 0$  すなわち  $1^2 + 2(m-1) \cdot 1 + 3 - m > 0$

$$\text{よって } m + 2 > 0$$

$$\text{したがって } m > -2 \quad \dots\dots ③$$

①、②、③の共通範囲を求めて

$$m > 2$$



(3)  $f(x) = x^2 + 2mx + 2m + 3$  とおく。

これを变形すると  $f(x) = (x+m)^2 - m^2 + 2m + 3$

$y = f(x)$  のグラフは下に凸の放物線で、軸は直線  $x = -m$  である。

また、2次方程式  $f(x) = 0$  の判別式を  $D$  とすると

$$D = (2m)^2 - 4(2m+3) = 4(m^2 - 2m - 3) = 4(m+1)(m-3)$$

(ア)  $y = f(x)$  のグラフと  $x$  軸の負の部分が異なる2点で

交わることに同じである。

したがって、次の3つが同時に成り立てばよい。

$$D = 4(m+1)(m-3) > 0 \quad \dots\dots ①$$

$$\text{軸について } -m < 0 \quad \dots\dots ②$$

$$f(0) = 2m + 3 > 0 \quad \dots\dots ③$$

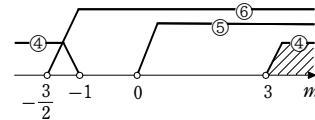
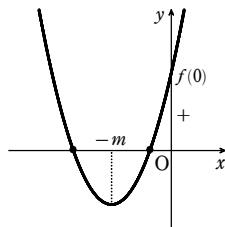
$$① \text{ から } m < -1, 3 < m \quad \dots\dots ④$$

$$② \text{ から } m > 0 \quad \dots\dots ⑤$$

$$③ \text{ から } m > -\frac{3}{2} \quad \dots\dots ⑥$$

④、⑤、⑥の共通範囲を求めて

$$m > 3$$



(イ)  $y = f(x)$  のグラフと  $x$  軸の  $x > -4$  の部分が異なる2点で交わることに同じである。したがって、次の3つが同時に成り立てばよい。

$$D = 4(m+1)(m-3) > 0 \quad \dots\dots ①$$

$$\text{軸について } -m > -4 \quad \dots\dots ②$$

$$f(-4) = -6m + 19 > 0 \quad \dots\dots ③$$

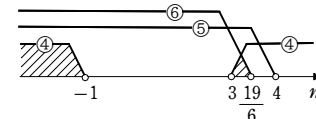
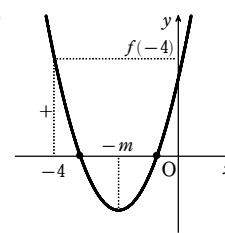
$$① \text{ から } m < -1, 3 < m \quad \dots\dots ④$$

$$② \text{ から } m < 4 \quad \dots\dots ⑤$$

$$③ \text{ から } m < \frac{19}{6} \quad \dots\dots ⑥$$

④、⑤、⑥の共通範囲を求めて

$$m < -1, 3 < m < \frac{19}{6}$$



2

【解答】 (1)  $\frac{-5 + \sqrt{13}}{2} < a < 0$  (2)  $3 < a \leq \frac{7}{2}$

【解説】

(1)  $f(x) = 3x^2 + 4ax + a^2 + a$  とし、 $f(x) = 0$  の判別式を  $D$  とする。

方程式  $f(x) = 0$  が  $-2 < x < 1$  の範囲に異なる

2つの実数解をもつための条件は、放物線

$y = f(x)$  が  $x$  軸の  $-2 < x < 1$  の部分と、異なる

2点で交わることに同じである。

よって、次のことが同時に成り立つ。

$$\left\{ \begin{array}{l} \frac{D}{4} = (2a)^2 - 3(a^2 + a) > 0 \quad \dots\dots ① \\ f(-2) = a^2 - 7a + 12 > 0 \quad \dots\dots ② \\ f(1) = a^2 + 5a + 3 > 0 \quad \dots\dots ③ \\ \text{軸について } -2 < -\frac{2}{3}a < 1 \quad \dots\dots ④ \end{array} \right.$$

$$① \text{ から } a(a-3) > 0 \quad \text{よって } a < 0, 3 < a$$

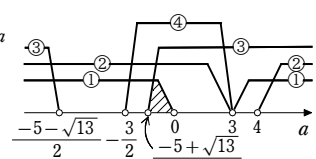
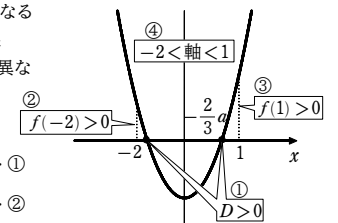
$$② \text{ から } (a-3)(a-4) > 0$$

$$\text{よって } a < 3, 4 < a$$

$$③ \text{ から } a < \frac{-5 - \sqrt{13}}{2}, \frac{-5 + \sqrt{13}}{2} < a$$

$$④ \text{ から } -\frac{3}{2} < a < 3$$

$$\text{共通範囲を求めて } \frac{-5 + \sqrt{13}}{2} < a < 0$$



(2)  $f(x) = x^2 - 2ax + 2a + 3$  とする。

方程式  $f(x) = 0$  が  $1 \leq x \leq 5$  の範囲に異なる2つの実数解をもつための条件は、

$y = f(x)$  のグラフが  $x$  軸の  $1 \leq x \leq 5$  の部分と、異なる2点で交わることに同じである。

したがって、次の [1] ~ [4] が同時に成り立つ。

$$[1] f(x) = 0 \text{ の判別式を } D \text{ とすると } \frac{D}{4} = (-a)^2 - 1 \cdot (2a + 3) = a^2 - 2a - 3 > 0$$

$$\text{よって } a < -1, 3 < a \quad \dots\dots ①$$

$$[2] \text{ 軸は直線 } x = a \text{ で、この軸について } 1 < a < 5 \quad \dots\dots ②$$

[3]  $f(1) = 1^2 - 2a \cdot 1 + 2a + 3 = 4 \geq 0$

これは常に成り立つ。

[4]  $f(5) = 5^2 - 2a \cdot 5 + 2a + 3 = -8a + 28 \geq 0$

よって  $a \leq \frac{7}{2}$  ……③

①, ②, ③の共通範囲を求めて  $3 < a \leq \frac{7}{2}$

【別解】(定数  $a$  を分離する解法)

与式から  $x^2 + 3 = 2a(x - 1)$

放物線  $y = x^2 + 3$  と、定点  $(1, 0)$  を通る

直線  $y = 2a(x - 1)$  が接するとき、

$D = 0$  であるから  $\frac{D}{4} = a^2 - 2a - 3 = 0$

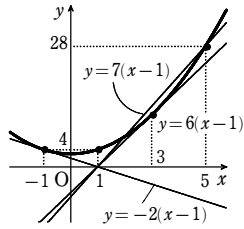
よって  $a = -1, 3$

$a = -1$  のとき、接点の  $x$  座標は  $x = -1$

$a = 3$  のとき、接点の  $x$  座標は  $x = 3$

放物線  $y = x^2 + 3$  と直線  $y = 2a(x - 1)$  の共有点の  $x$  座標に着目すると、求める  $a$  の値の範囲は、図より  $6 < 2a \leq 7$

よって  $3 < a \leq \frac{7}{2}$



[3]

【解答】(1)  $m < -\sqrt{3}, \sqrt{3} < m$  (2)  $a > 1$

【解説】

(1)  $f(x) = x^2 + 2(m - 1)x + 3 - m^2$  とおく。

放物線  $y = f(x)$  は下に凸であるから、 $x$  軸の正の部分と負の部分で交わるのは、放物線が  $y$  軸の負の部分と交わる時である。

したがって  $f(0) < 0$  すなわち  $3 - m^2 < 0$

よって  $m^2 - 3 > 0$

ゆえに  $(m + \sqrt{3})(m - \sqrt{3}) > 0$

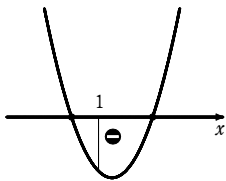
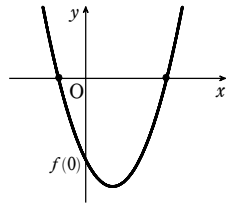
したがって  $m < -\sqrt{3}, \sqrt{3} < m$

(2)  $f(x) = x^2 - 4ax + 3a$  とする。

方程式  $f(x) = 0$  が 1 より大きい解と 1 より小さい解をもつための条件は  $f(1) < 0$

ゆえに  $1 - a < 0$

よって  $a > 1$



[4]

【解答】(1)  $0 < a < 1$  (2)  $1 < a < \frac{3}{2}$

【解説】

(1)  $f(x) = 2x^2 - 3x + a$  とおく。

$y = f(x)$  のグラフは下に凸の放物線であるから、与えられた 2 次方程式の 1 つの解が 0 と 1 の間にあり、他の解が 1 と 2 の間にあるのは

$f(0) > 0$  かつ  $f(1) < 0$  かつ  $f(2) > 0$

のときである。

$f(0) > 0$  から  $a > 0$  ……①

$f(1) < 0$  から  $-1 + a < 0$

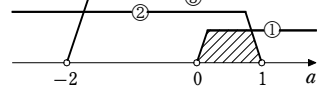
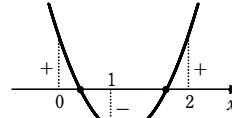
ゆえに  $a < 1$  ……②

$f(2) > 0$  から  $2 + a > 0$

ゆえに  $a > -2$  ……③

①, ②, ③の共通範囲を求めて

$0 < a < 1$



(2)  $f(x) = 2ax^2 - (a + 2)x - 5$  とおく。

$a > 0$  であるから、 $y = f(x)$  のグラフは下に凸の放物線である。  $f(0) = -5 < 0$  である。

よって、与えられた 2 次方程式の 1 つの解が -1 と 0 の間にあり、他の解が 2 と 3 の間にあるのは

$f(-1) > 0$  かつ  $f(2) < 0$  かつ  $f(3) > 0$

のときである。

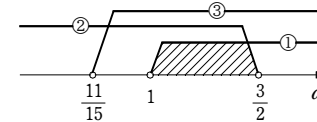
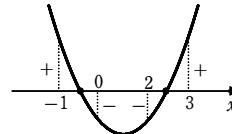
$f(-1) > 0$  から  $3a - 3 > 0$  ゆえに  $a > 1$  ……①

$f(2) < 0$  から  $6a - 9 < 0$  ゆえに  $a < \frac{3}{2}$  ……②

$f(3) > 0$  から  $15a - 11 > 0$  ゆえに  $a > \frac{11}{15}$  ……③

①, ②, ③の共通範囲を求めて

$1 < a < \frac{3}{2}$



[5]

【解答】  $-6 < m < 3$

【解説】

求める条件は、 $0 \leq x \leq 8$  における  $f(x) = x^2 - 2mx + m + 6$  の最小値が正となることである。  $f(x) = (x - m)^2 - m^2 + m + 6$  であるから、軸は 直線  $x = m$

[1]  $m < 0$  のとき、 $f(x)$  は  $0 \leq x \leq 8$  で増加するから、最小値は  $f(0) = m + 6$

ゆえに  $m + 6 > 0$  よって  $m > -6$

$m < 0$  であるから  $-6 < m < 0$  ……①

[2]  $0 \leq m \leq 8$  のとき、最小値は  $f(m) = -m^2 + m + 6$

ゆえに  $-m^2 + m + 6 > 0$  すなわち  $m^2 - m - 6 < 0$

これを解くと、 $(m + 2)(m - 3) < 0$  から  $-2 < m < 3$

$0 \leq m \leq 8$  であるから  $0 \leq m < 3$  ……②

[3]  $8 < m$  のとき、 $f(x)$  は  $0 \leq x \leq 8$  で減少するから、最小値は  $f(8) = -15m + 70$

ゆえに、 $-15m + 70 > 0$  から  $m < \frac{14}{3}$  これは  $8 < m$  を満たさない。

求める  $m$  の値の範囲は、①, ②を合わせて  $-6 < m < 3$

[1]

【解答】  $-1 < a < 0, \frac{7}{2} < a < 4$

【解説】

$f(x) = ax^2 + 2(a - 2)x + 2a - 7,$

$\frac{D}{4} = (a - 2)^2 - a \cdot (2a - 7) = -a^2 + 3a + 4 = -(a + 1)(a - 4)$

とする。

求める条件は、 $y = f(x)$  のグラフが  $x$  軸の負の部分と異なる 2 点で交わることである。

[1]  $a > 0$  のとき

$y = f(x)$  のグラフは下に凸であるから、 $y = f(x)$  のグラフが  $x$  軸の負の部分と異なる 2 点で交わるための条件は

$\frac{D}{4} = -(a + 1)(a - 4) > 0$  ……①

$y = f(x)$  の軸は  $x = -\frac{a - 2}{a}$  で  $-\frac{a - 2}{a} < 0$  ……②

$f(0) = 2a - 7 > 0$  ……③

の 3 つが同時に成り立つことである。

① から  $-1 < a < 4$

$a > 0$  と ② から  $a > 2$

③ から  $a > \frac{7}{2}$

これらと  $a > 0$  との共通範囲は  $\frac{7}{2} < a < 4$

[2]  $a < 0$  のとき

$y = f(x)$  のグラフは上に凸であるから、 $y = f(x)$  のグラフが  $x$  軸の負の部分と異なる 2 点で交わるための条件は

$\frac{D}{4} = -(a + 1)(a - 4) > 0$  ……④

$y = f(x)$  の軸について  $-\frac{a - 2}{a} < 0$  ……⑤

$f(0) = 2a - 7 < 0$  ……⑥

の 3 つが同時に成り立つことである。

④ から  $-1 < a < 4$

$a < 0$  と ⑤ から  $a < 2$

⑥ から  $a < \frac{7}{2}$

これらと  $a < 0$  との共通範囲は  $-1 < a < 0$  である。

したがって、条件を満たす  $a$  の値の範囲は

$-1 < a < 0, \frac{7}{2} < a < 4$

[2]

【解答】 (1)  $a \leq -\frac{21}{16}$  (2)  $a \geq -\frac{\sqrt{5}}{2}$

【解説】

$x^2 - 6x + 8 \leq 0$  から  $(x - 2)(x - 4) \leq 0$

よって  $2 \leq x \leq 4$

(1) 条件を満たすためには、 $2 \leq x \leq 4$  が  $x^2 + 4ax + 5 \leq 0$  の解に含まれればよい。



$f(x) = x^2 + 4ax + 5$  とおくと  $f(2) \leq 0, f(4) \leq 0$

したがって  $2^2 + 4a \cdot 2 + 5 \leq 0$  より  $a \leq -\frac{9}{8}$

$4^2 + 4a \cdot 4 + 5 \leq 0$  より  $a \leq -\frac{21}{16}$

よって  $a \leq -\frac{21}{16}$

(2)  $f(x) = (x+2a)^2 - 4a^2 + 5$  であるから  $f(x)$  の軸は  $x = -2a$

$2 \leq x \leq 4$  において  $f(x) \geq 0$  となるためには、 $f(x)$  の軸に着目して  $-2a < 2$  すなわち  $a > -1$  のとき  $f(2) = 2^2 + 4a \cdot 2 + 5 \geq 0$  より

$a \geq -\frac{9}{8}$  よって  $a > -1$

$2 \leq -2a \leq 4$  すなわち  $-2 \leq a \leq -1$  のとき  $-4a^2 + 5 \geq 0$  より

$-\frac{\sqrt{5}}{2} \leq a \leq \frac{\sqrt{5}}{2}$  よって  $-\frac{\sqrt{5}}{2} \leq a \leq -1$

$4 < -2a$  すなわち  $a < -2$  のとき  $f(4) = 4^2 + 4a \cdot 4 + 5 \geq 0$

このとき  $a$  の解はない。

以上から  $a \geq -\frac{\sqrt{5}}{2}$

1

解答  $2 \leq a < 3$

解説

判別式を  $D$  とし、 $f(x) = x^2 + (2-a)x + 4-2a$  とする。

$f(-1) = -a+3, f(1) = -3a+7$

[1] 2つの解がともに  $-1 < x < 1$  の範囲にあるための条件は

$$\begin{cases} D = (2-a)^2 - 4 \cdot 1 \cdot (4-2a) \geq 0 \dots\dots ① \\ \text{軸 } x = -\frac{2-a}{2} \text{ について } -1 < -\frac{2-a}{2} < 1 \dots\dots ② \\ f(-1) = -a+3 > 0 \dots\dots ③, f(1) = -3a+7 > 0 \dots\dots ④ \end{cases}$$

① から  $a^2 + 4a - 12 \geq 0$  よって  $(a-2)(a+6) \geq 0$

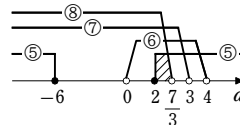
ゆえに  $a \leq -6, 2 \leq a \dots\dots ⑤$

②~④ を解くと、解は順に

$0 < a < 4 \dots\dots ⑥, a < 3 \dots\dots ⑦,$

$a < \frac{7}{3} \dots\dots ⑧$

⑤~⑧ の共通範囲は  $2 \leq a < \frac{7}{3}$



[2] 解の1つが  $-1 < x < 1$ , 他の解が  $x < -1$  または  $1 < x$  にあるための条件は

$f(-1)f(1) < 0$  ゆえに  $(-a+3)(-3a+7) < 0$

よって  $(a-3)(3a-7) < 0$  ゆえに  $\frac{7}{3} < a < 3$

[3] 解の1つが  $x = -1$  のときは  $f(-1) = 0$

よって  $-a+3=0$  ゆえに  $a=3$

このとき、方程式は  $x^2 - x - 2 = 0$  よって  $(x+1)(x-2) = 0$

ゆえに、他の解は  $x=2$  となり、条件を満たさない。

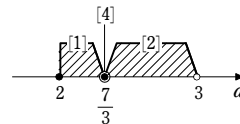
[4] 解の1つが  $x=1$  のときは  $f(1) = 0$

よって  $-3a+7=0$  ゆえに  $a = \frac{7}{3}$

このとき、方程式は  $3x^2 - x - 2 = 0$

よって  $(x-1)(3x+2) = 0$

ゆえに、他の解は  $x = -\frac{2}{3}$  となり、条件を満たす。



[1]~[4] から  $2 \leq a < 3$

2

解答 略

解説

$f(x) = (x-b)(x-c) + (x-c)(x-a) + (x-a)(x-b)$  とする。

$a < b < c$  であるから

$f(a) = (a-b)(a-c) > 0$

$f(b) = (b-c)(b-a) < 0$

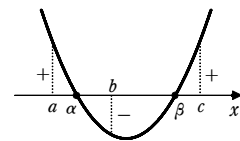
$f(c) = (c-a)(c-b) > 0$

よって、 $y = f(x)$  のグラフは右の図のような

下に凸の放物線であり、 $a < x < b$  および

$b < x < c$  の範囲で  $x$  軸と交わる。

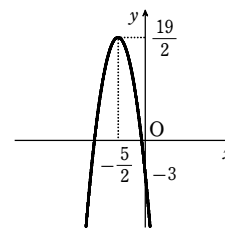
ゆえに、与えられた2次方程式  $f(x) = 0$  は異なる2つの解をもち、2つの解のうち1つは  $a$  と  $b$  の間にあり、他の1つは  $b$  と  $c$  の間にある。



1

解答 (1) [図]、軸  $x = -\frac{5}{2}$ , 頂点  $(-\frac{5}{2}, \frac{19}{2})$

(2)  $a = \pm \frac{3}{2}$



解説

(1)  $f(x) = -2x^2 - 10x - 3 = -2(x^2 + 5x) - 3$

$= -2\left(x + \frac{5}{2}\right) - \left(\frac{5}{2}\right)^2 - 3$

$= -2\left(x + \frac{5}{2}\right)^2 + 2 \cdot \left(\frac{5}{2}\right)^2 - 3$

$= -2\left(x + \frac{5}{2}\right)^2 + \frac{19}{2}$

よって、 $y = f(x)$  は  $y = -2\left(x + \frac{5}{2}\right)^2 + \frac{19}{2}$

したがって、この関数のグラフは右の図のような放物線である。

また、軸は 直線  $x = -\frac{5}{2}$ ,

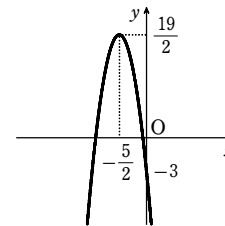
頂点は 点  $(-\frac{5}{2}, \frac{19}{2})$

(2)  $f(x) = -2\left(x + \frac{5}{2}\right)^2 + \frac{19}{2}$  であるから

$f\left(a - \frac{5}{2}\right) = -2\left[\left(a - \frac{5}{2}\right) + \frac{5}{2}\right]^2 + \frac{19}{2} = -2a^2 + \frac{19}{2}$

よって、 $f\left(a - \frac{5}{2}\right) = 5$  から  $-2a^2 + \frac{19}{2} = 5$

すなわち  $a^2 = \frac{9}{4}$  ゆえに  $a = \pm \frac{3}{2}$



2

解答  $a = 7, b = 3$

解説

放物線  $y = x^2 + ax + b$  を原点に関して対称移動すると

$-y = (-x)^2 + a(-x) + b$

すなわち  $y = -x^2 + ax - b$

さらに、この放物線を  $y$  軸方向に8だけ平行移動すると

$y - 8 = -x^2 + ax - b$

すなわち  $y = -x^2 + ax - b + 8$

これが  $y = -x^2 + 7x + 5$  に一致するから

$a = 7, -b + 8 = 5$

よって  $a = 7, b = 3$

[別解] 移動後の放物線  $y = -x^2 + 7x + 5$  を  $y$  軸方向に  $-8$  だけ平行移動すると

第8講 総復習問題

$$y - (-8) = -x^2 + 7x + 5$$

すなわち  $y = -x^2 + 7x - 3$

さらに、この放物線を原点に関して対称移動すると

$$-y = -(-x)^2 + 7(-x) - 3$$

すなわち  $y = x^2 + 7x + 3$

これが移動前の放物線  $y = x^2 + ax + b$  と一致するから

$$a = 7, b = 3$$

3

【解答】  $y = -\frac{3}{4}(x+1)^2 + 5$  ( $y = -\frac{3}{4}x^2 - \frac{3}{2}x + \frac{17}{4}$ )

【解説】

最大値が5であるから、求める2次関数は

$$y = a(x-p)^2 + 5 \quad (a < 0)$$

と表される。

そのグラフが2点  $(-3, 2)$ ,  $(1, 2)$  を通るから

$$2 = a(-3-p)^2 + 5 \quad \text{すなわち} \quad a(3+p)^2 = -3$$

$$2 = a(1-p)^2 + 5 \quad \text{すなわち} \quad a(1-p)^2 = -3$$

これを解くと  $a(3+p)^2 = a(1-p)^2$

$a < 0$  から  $9 + 6p + p^2 = 1 - 2p + p^2$

よって  $p = -1$

$a(3+p)^2 = -3$  に代入して  $a(3-1)^2 = -3$

ゆえに  $4a = -3$  よって  $a = -\frac{3}{4}$

これは、 $a < 0$  を満たす。

ゆえに、求める2次関数は

$$y = -\frac{3}{4}(x+1)^2 + 5 \quad (y = -\frac{3}{4}x^2 - \frac{3}{2}x + \frac{17}{4} \text{ でもよい})$$

【別解】  $(p$  の求め方)

通過する2点の  $y$  座標が等しいから、軸は2点を結ぶ線分の中点を通る。

よって、軸の直線は  $x = \frac{-3+1}{2} = -1$

ゆえに  $p = -1$

4

【解答】 (1) 最大値5, 最小値-4 (2)  $2 < y \leq \frac{10}{3}$

【解説】

(1) この関数の式は

$$y = (x-2)^2 - 4 \quad (0 < x \leq 5)$$

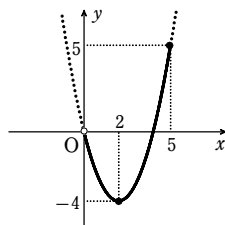
と変形され、そのグラフは右の図の実線の部分である。

よって、この関数は

$$x = 5 \text{ で最大値 } 5,$$

$$x = 2 \text{ で最小値 } -4$$

をとる。



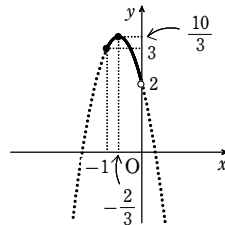
(2) この関数の式は

$$y = -3\left(x + \frac{2}{3}\right)^2 + \frac{10}{3} \quad (-1 \leq x < 0)$$

と変形され、そのグラフは右の図の実線の部分である。

よって、この関数の値域は

$$2 < y \leq \frac{10}{3}$$



5

【解答】  $20\sqrt{2}$

【解説】

長方形の縦と横の長さをそれぞれ  $x, y$  とする。

$$2x + 2y = 80 \text{ であるから } y = 40 - x$$

辺の長さは正の数であるから  $x > 0$  かつ  $40 - x > 0$

すなわち  $0 < x < 40$  …… ①

三平方の定理より  $l^2 = x^2 + y^2 = x^2 + (40 - x)^2 = 2x^2 - 80x + 1600$

$$= 2(x-20)^2 + 800$$

よって、①において、 $l^2$  は  $x = 20$  で最小値800をとる。

$l > 0$  であるから、 $l^2$  が最小のとき、 $l$  も最小となる。

したがって、 $l$  の最小値は  $\sqrt{800} = 20\sqrt{2}$

6

【解答】 (1)  $0 < a < 3$  のとき  $x = a$  で最大値  $-a^2 + 6a$ ,  $a \geq 3$  のとき  $x = 3$  で最大値9

(2)  $0 < a < 6$  のとき  $x = 0$  で最小値0,  $a = 6$  のとき  $x = 0, 6$  で最小値0,

$a > 6$  のとき  $x = a$  で最小値  $-a^2 + 6a$

【解説】

$y = -x^2 + 6x$  を変形すると  $y = -(x-3)^2 + 9$

(1) [1]  $0 < a < 3$  のとき グラフは図①のようになる。

よって  $x = a$  で最大値  $-a^2 + 6a$

[2]  $a \geq 3$  のとき グラフは図②, ③, ④のようになる。

よって  $x = 3$  で最大値9

(2) 定義域の中央の値は  $\frac{a}{2}$

[1]  $0 < \frac{a}{2} < 3$  すなわち  $0 < a < 6$  のとき

グラフは図①, ②のようになる。

よって  $x = 0$  で最小値0

[2]  $\frac{a}{2} = 3$  すなわち  $a = 6$  のとき

グラフは図③のようになる。

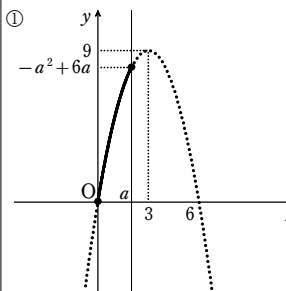
よって  $x = 0, 6$  で最小値0

[3]  $3 < \frac{a}{2}$  すなわち  $a > 6$  のとき

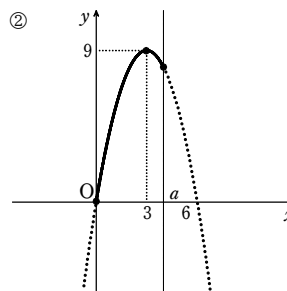
グラフは図④のようになる。

よって  $x = a$  で最小値  $-a^2 + 6a$

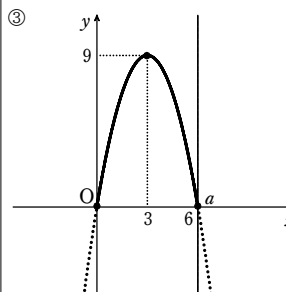
①



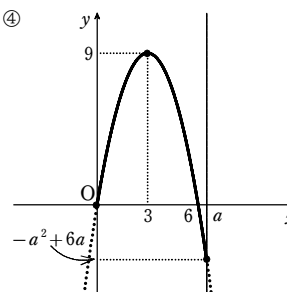
②



③



④



7

【解答】 (1)  $a = 1$  のとき  $(0, 1)$ ,  $a = 5$  のとき  $(-2, -1)$

(2)  $k > -\frac{1}{2}$  のとき2個,  $k = -\frac{1}{2}$  のとき1個,  $k < -\frac{1}{2}$  のとき0個

【解説】

(1)  $y = x^2 + ax + a$  と  $y = x + 1$  から  $y$  を消去して

$$x^2 + ax + a = x + 1$$

整理すると  $x^2 + (a-1)x + a-1 = 0$  …… ①

2次方程式①の判別式を  $D$  とすると

$$D = (a-1)^2 - 4(a-1) = (a-1)(a-5)$$

与えられた放物線と直線が接するための必要十分条件は  $D = 0$

ゆえに  $(a-1)(a-5) = 0$  よって  $a = 1, 5$

このとき、①の重解は  $x = -\frac{a-1}{2 \cdot 1} = \frac{1-a}{2}$

$a = 1$  のとき  $x = 0$  このとき  $y = 1$

したがって、接点の座標は  $(0, 1)$

$a = 5$  のとき  $x = -2$  このとき  $y = -1$

したがって、接点の座標は  $(-2, -1)$

(2)  $y = x^2 - 2kx$  と  $y = 2x - k^2$  から  $y$  を消去して

$$x^2 - 2kx = 2x - k^2$$

整理すると  $x^2 - 2(k+1)x + k^2 = 0$  …… ①

2次方程式①の判別式を  $D$  とすると

$$\frac{D}{4} = -(k+1)^2 - 1 \cdot k^2 = 2k + 1$$

$D > 0$  すなわち  $2k+1 > 0$  となるのは  $k > -\frac{1}{2}$

$D = 0$  すなわち  $2k+1 = 0$  となるのは  $k = -\frac{1}{2}$

$D < 0$  すなわち  $2k+1 < 0$  となるのは  $k < -\frac{1}{2}$

よって、求める共有点の個数は

$k > -\frac{1}{2}$  のとき 2個,  $k = -\frac{1}{2}$  のとき 1個,  $k < -\frac{1}{2}$  のとき 0個

8

解答  $-2 \leq x < -\frac{1}{3}, 1 < x \leq 2$

解説

$x^2 \leq 4$  から  $x^2 - 4 \leq 0$  すなわち  $(x+2)(x-2) \leq 0$

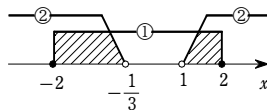
よって  $-2 \leq x \leq 2$  ……①

$3x^2 - 2x > 1$  から  $3x^2 - 2x - 1 > 0$  すなわち  $(3x+1)(x-1) > 0$

よって  $x < -\frac{1}{3}, 1 < x$  ……②

①と②の共通範囲を求めて

$-2 \leq x < -\frac{1}{3}, 1 < x \leq 2$



9

解答 (1)  $-2 < m < 2$  (2)  $-8 < m < 0$  (3)  $-2 < a < 6$

解説

(1)  $x^2$  の係数は正であるから、 $x$  軸と共有点をもたないための必要十分条件は

$D = m^2 - 4 \cdot 1 \cdot 1 < 0$  ゆえに  $m^2 - 4 < 0$

これを解いて  $-2 < m < 2$

(2) 解がすべての実数であるための条件は  $D = (-m)^2 - 4 \cdot 1 \cdot (-2m) < 0$

すなわち  $m(m+8) < 0$  これを解いて  $-8 < m < 0$

(3)  $x^2$  の係数は正であるから、常に不等式が成り立つ条件は

$D = a^2 - 4 \cdot 1 \cdot (a+3) < 0$

よって  $a^2 - 4a - 12 < 0$  ゆえに  $(a+2)(a-6) < 0$

したがって、求める  $a$  の値の範囲は  $-2 < a < 6$

10

解答  $m < -\frac{1}{2}$

解説

2次不等式  $mx^2 - 3x + m - 4 < 0$  がすべての実数  $x$  で成り立つための条件は、 $m < 0$  であり、2次方程式  $mx^2 - 3x + m - 4 = 0$  の判別式  $D$  について、 $D < 0$  が成り立つことである。

$D = (-3)^2 - 4 \cdot m \cdot (m-4) = -4m^2 + 16m + 9$  であるから、 $D < 0$  より

$-4m^2 + 16m + 9 < 0$  よって  $4m^2 - 16m - 9 > 0$

すなわち  $(2m+1)(2m-9) > 0$  ゆえに  $m < -\frac{1}{2}, \frac{9}{2} < m$

$m < 0$  であるから  $m < -\frac{1}{2}$

11

解答 (1)  $m < -14$  (2)  $-14 < m \leq 2$  (3)  $m > 22$

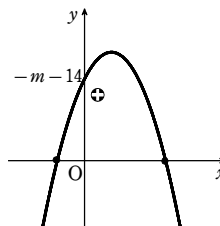
解説

$f(x) = -x^2 + (m-10)x - m - 14$  とし、 $f(x) = 0$  の判別式を  $D$  とすると

$D = (m-10)^2 - 4 \cdot (-1) \cdot (-m-14)$   
 $= m^2 - 24m + 44$   
 $= (m-2)(m-22)$

(1)  $y = f(x)$  のグラフは上に凸の放物線であるから、 $x$  軸の正の部分と負の部分で交わるのは、 $f(0) = -m - 14 > 0$  のときである。

したがって  $m < -14$



(2)  $y = f(x)$  のグラフが  $x$  軸の負の部分とのみ共有点をもつのは、次の [1], [2], [3] が同時に成り立つときである。

[1] グラフと  $x$  軸が共有点をもつから

$D = (m-2)(m-22) \geq 0$

よって  $m \leq 2, 22 \leq m$  ……①

[2] グラフの軸は直線  $x = \frac{m-10}{2}$  で、この軸について

$\frac{m-10}{2} < 0$

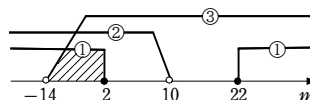
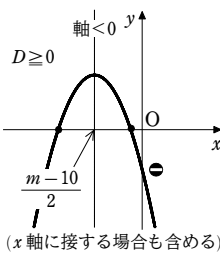
よって  $m < 10$  ……②

[3]  $f(0) < 0$  であるから  $-m - 14 < 0$

よって  $m > -14$  ……③

①, ②, ③の共通範囲を求めて

$-14 < m \leq 2$



(3)  $y = f(x)$  のグラフが  $x$  軸の  $x > 1$  の部分と、異なる2点で交わるのは、次の [1], [2], [3] が同時に成り立つときである。

[1] グラフと  $x$  軸が異なる2点で交わるから

$D = (m-2)(m-22) > 0$

よって  $m < 2, 22 < m$  ……①

[2] グラフの軸：直線  $x = \frac{m-10}{2}$  について

$\frac{m-10}{2} > 1$  よって  $m > 12$  ……②

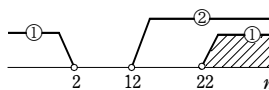
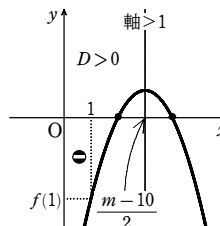
[3]  $f(1) < 0$  から

$-1 + m - 10 - m - 14 = -25 < 0$

これは常に成り立つ。

①, ②の共通範囲を求めて

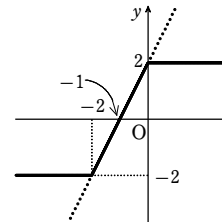
$m > 22$



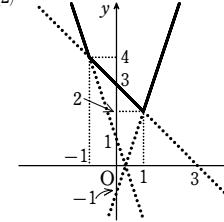
1

解答 (1) [図]の実線部分 (2) [図]の実線部分

(1)



(2)



解説

(1)  $x < -2$  のとき

$y = -(x+2) - (-x)$   
 $= -2$

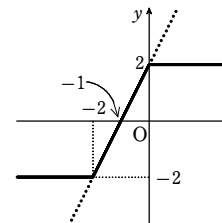
$-2 \leq x < 0$  のとき

$y = (x+2) - (-x) = 2x+2$

$0 \leq x$  のとき

$y = x+2 - x = 2$

よって、グラフは右の図の実線部分。



(2)  $x < -1$  のとき

$y = -(x+1) - 2(x-1)$   
 $= -3x+1$

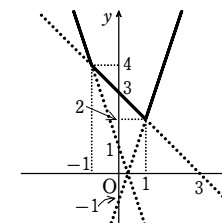
$-1 \leq x < 1$  のとき

$y = x+1 - 2(x-1) = -x+3$

$1 \leq x$  のとき

$y = x+1 + 2(x-1) = 3x-1$

よって、グラフは右の図の実線部分。



2

解答  $x = -\frac{3}{2}$  で最小値  $-\frac{25}{2}$ , 最大値はない

解説

$y = 2(x-1)(x+4)$  を変形すると

$y = 2(x^2 + 3x - 4) = 2\left(\left(x + \frac{3}{2}\right)^2 - \left(\frac{3}{2}\right)^2\right) - 8$

$= 2\left(x + \frac{3}{2}\right)^2 - \frac{25}{2}$

また  $x = -3$  のとき  $y = -8$

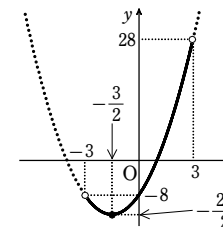
$x = 3$  のとき  $y = 28$

与えられた関数のグラフは図の実線部分である。

よって、グラフから

$x = -\frac{3}{2}$  で最小値  $-\frac{25}{2}$  をとり、

最大値はない。



章末問題A

3

解答  $a=2\sqrt{3}, b=\frac{3}{2}$

解説

$y=2x^2+ax+b$  から  $y=2\left(x+\frac{a}{4}\right)^2+b-\frac{a^2}{8}$

この2次関数のグラフが  $x$  軸と接するから

$b-\frac{a^2}{8}=0$  ……①

このとき、Pの座標は  $\left(-\frac{a}{4}, 0\right)$

また、Qの座標は  $(0, b)$

$PQ=\sqrt{3}$  より、 $PQ^2=3$ であるから

$\left(-\frac{a}{4}-0\right)^2+(0-b)^2=3$  すなわち  $\frac{a^2}{16}+b^2=3$  ……②

①から  $a^2=8b$  ……③

これを②に代入して整理すると  $2b^2+b-6=0$  よって  $(2b-3)(b+2)=0$

上のグラフより、 $b>0$ であるから  $b=\frac{3}{2}$  ③に代入して  $a^2=8\cdot\frac{3}{2}=12$

$a>0$ であるから  $a=2\sqrt{3}$

4

解答 (1)  $y=-\frac{1}{3}(x-2)^2+2$  ( $y=-\frac{1}{3}x^2+\frac{4}{3}x+\frac{2}{3}$ ) (2)  $a=-1, b=2, c=3$

解説

(1)  $1\leq x\leq 5$ の範囲で  $x=2$ のとき最大値2をとるから、この2次関数のグラフは上に凸で、頂点は点(2, 2)である。

よって、求める2次関数は

$y=a(x-2)^2+2, a<0$  と表される。

ゆえに、 $1\leq x\leq 5$ の範囲で、 $y$ は  $x=5$ のとき最小になる。 $x=5$ のとき  $y=-1$ であるから

$-1=a(5-2)^2+2$  よって  $a=-\frac{1}{3}$

これは  $a<0$ を満たす。ゆえに、求める2次関数は

$y=-\frac{1}{3}(x-2)^2+2$  ( $y=-\frac{1}{3}x^2+\frac{4}{3}x+\frac{2}{3}$ でもよい)

(2)  $f(-1)=f(3)=0$ であるから、放物線  $y=f(x)$ の軸は、2点(-1, 0), (3, 0)を結ぶ線分の中点(1, 0)を通る。

ゆえに、 $f(x)$ は  $x=1$ で最大値4をとる。よって、 $f(x)$ は  $f(x)=a(x-1)^2+4, a<0$ と表される。

$f(-1)=0$ から  $4a+4=0$

したがって  $a=-1$  これは  $a<0$ を満たす。

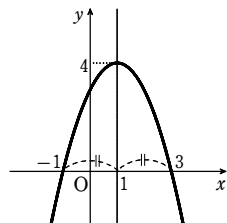
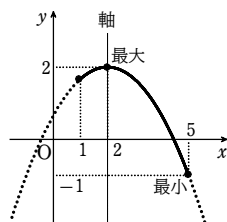
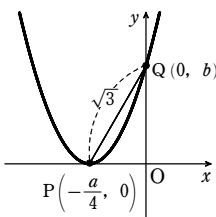
ゆえに  $f(x)=-x^2+2x+4$

よって  $f(x)=-x^2+2x+3$

したがって  $b=2, c=3$

別解  $f(-1)=f(3)=0$ であるから、 $f(x)=a(x+1)(x-3)$ と表される。

$a(x+1)(x-3)=a(x^2-2x-3)=a(x-1)^2-4a$ であるから



$f(x)=a(x-1)^2-4a$

最大値が4であるから  $a<0$  かつ  $-4a=4$

よって  $a=-1$  これは  $a<0$ を満たす。

したがって  $f(x)=-(x+1)(x-3)=-x^2+2x+3$

ゆえに  $a=-1, b=2, c=3$

5

解答 (ア) 4 (イ) 77 (ウ) 3 (エ)  $-4\leq y\leq 5$

解説

$t=x^2-2x$  から  $t^2=(x^2-2x)^2=x^4-4x^3+4x^2$

よって  $y=x^4-4x^3+8x=(x^4-4x^3+4x^2)-4x^2+8x$   
 $=(x^2-2x)^2-4(x^2-2x)+t^2-7t$

$x=1+2\sqrt{3}$ のとき

$t=x^2-2x=(x-1)^2-1$   
 $=\{(1+2\sqrt{3})-1\}^2-1=(2\sqrt{3})^2-1=11$

ゆえに  $y=t^2-4t=11^2-4\cdot 11=77$

また、 $y=5$ のとき  $t^2-4t=5$

これを解いて  $t=-1, 5$

$t=-1$ のとき  $x^2-2x=-1$

これを満たす実数  $x$ の値は、 $x=1$ の1個

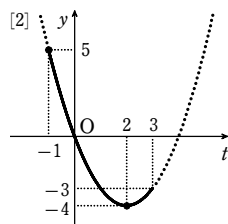
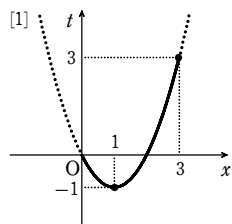
$t=5$ のとき  $x^2-2x=5$

これを満たす実数  $x$ の値は、 $x=1\pm\sqrt{6}$ の2個

したがって、 $y=5$ となる実数  $x$ の値は  $1+2=\sqrt{3}$ (個)

$t=x^2-2x=(x-1)^2-1$ であるから、 $0\leq x\leq 3$ のとき、 $t$ のとりうる値の範囲は、下の図[1]より  $-1\leq t\leq 3$

さらに、 $y=t^2-4t=(t-2)^2-4$ であるから、 $0\leq x\leq 3$ すなわち  $-1\leq t\leq 3$ のとき、 $y$ のとりうる値の範囲は、下の図[2]より  $-4\leq y\leq 5$



6

解答  $x=0, y=0$ で最小値2

解説

$f(x, y)=x^2-4xy+5y^2+2y+2$   
 $=\{(x-2y)^2-(2y)^2\}+5y^2+2y+2$   
 $=(x-2y)^2+y^2+2y+2$   
 $=(x-2y)^2+\{(y+1)^2-1\}+2$   
 $=(x-2y)^2+(y+1)^2+1$

$x\geq 0, y\geq 0$ のとき  $y+1\geq 1, x-2y$ は任意の実数

よって  $(y+1)^2\geq 1, (x-2y)^2\geq 0$  ゆえに  $f(x, y)\geq 2$

したがって、 $y+1=1, x-2y=0$ , すなわち  $x=0, y=0$ で最小値2をとる。

7

解答 (1)  $a<0$ のとき  $-a, 0\leq a\leq 10$ のとき  $\frac{a^2}{4}-a, 10<a$ のとき  $-25+4a$

(2)  $a=-3, 6$

解説

(1) 関数の式を変形すると  $f(x)=-\left(x-\frac{a}{2}\right)^2+\frac{a^2}{4}-a$

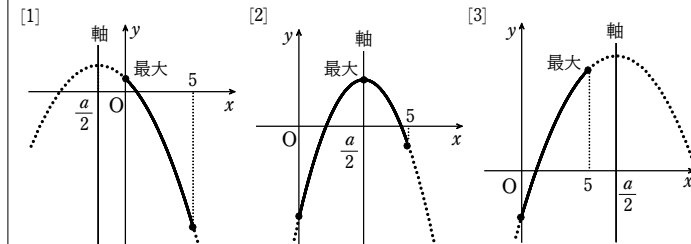
$y=f(x)$ のグラフは上に凸の放物線で、軸は直線  $x=\frac{a}{2}$ , 頂点は点  $\left(\frac{a}{2}, \frac{a^2}{4}-a\right)$ である。

よって、 $f(x)$ の  $0\leq x\leq 5$ における最大値は

[1]  $\frac{a}{2}<0$  すなわち  $a<0$ のとき  $f(0)=-a$

[2]  $0\leq \frac{a}{2}\leq 5$  すなわち  $0\leq a\leq 10$ のとき  $f\left(\frac{a}{2}\right)=\frac{a^2}{4}-a$

[3]  $5<\frac{a}{2}$  すなわち  $10<a$ のとき  $f(5)=-25+4a$



(2) [1]  $a<0$ のとき、 $f(x)$ の最大値が3であるとすると  $-a=3$   
 よって  $a=-3$  これは  $a<0$ を満たす。

[2]  $0\leq a\leq 10$ のとき、 $f(x)$ の最大値が3であるとすると  $\frac{a^2}{4}-a=3$

よって  $a^2-4a-12=0$  ゆえに  $(a+2)(a-6)=0$   
 $0\leq a\leq 10$ であるから  $a=6$

[3]  $10<a$ のとき、 $f(x)$ の最大値が3であるとすると  $-25+4a=3$   
 よって  $a=7$  これは  $10<a$ を満たさず、不適。

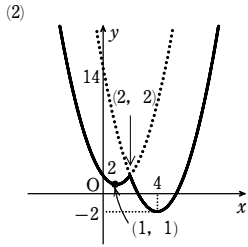
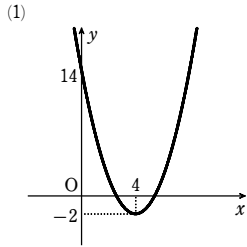
[1]~[3]から、求める  $a$ の値は  $a=-3, 6$

8

解答 (1)  $g(x)=x^2-8x+14$ , [図] (2) [図]

(3)  $0<a<1$ のとき  $m=a^2-2a+2, 1\leq a<4-\sqrt{3}$ のとき  $m=1, 4-\sqrt{3}\leq a<4$ のとき  $m=a^2-8a+14, 4\leq a$ のとき  $m=-2$

章末問題A



【解説】

(1)  $y - (-3) = f(x-3)$  から  
 $y = f(x-3) - 3$   
 $= (x-3)^2 - 2(x-3) + 2 - 3$   
 $= x^2 - 8x + 14$

よって  $g(x) = x^2 - 8x + 14$   
 $x^2 - 8x + 14 = (x-4)^2 - 2$  であるから、 $y = g(x)$  のグラフは右の図[1]のようになる。

(2)  $f(x) - g(x) = x^2 - 2x + 2 - (x^2 - 8x + 14)$   
 $= 6x - 12 = 6(x-2)$

よって  
 $x \leq 2$  のとき  $f(x) \leq g(x)$ 、  
 $x > 2$  のとき  $f(x) > g(x)$

ゆえに  $h(x) = \begin{cases} x^2 - 2x + 2 & (x \leq 2) \\ x^2 - 8x + 14 & (x > 2) \end{cases}$

したがって、 $y = h(x)$  のグラフは右の図[2]の実線部分。

(3)  $x^2 - 8x + 14 = 1$  とすると  $x^2 - 8x + 13 = 0$

これを解くと  $x = 4 \pm \sqrt{3}$

したがって

$0 < a < 1$  のとき

$$m = h(a) = a^2 - 2a + 2$$

$1 \leq a < 4 - \sqrt{3}$  のとき

$$m = h(1) = 1$$

$4 - \sqrt{3} \leq a < 4$  のとき

$$m = h(a) = a^2 - 8a + 14$$

$4 \leq a$  のとき  $m = h(4) = -2$

【9】

【解答】 (1)  $3 < a < 4$  (2)  $1 < a \leq 3, 4 \leq a < 6$

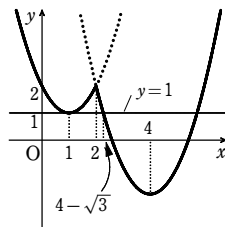
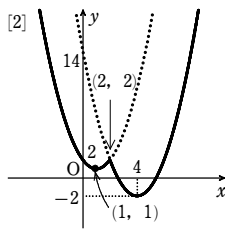
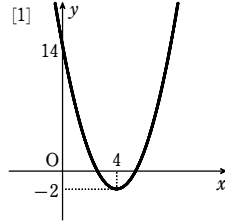
【解説】

①, ②, ③の判別式をそれぞれ  $D_1, D_2, D_3$  とすると

$$D_1 = a^2 - 4(a+3) = a^2 - 4a - 12 = (a+2)(a-6)$$

$$\frac{D_2}{4} = \{-(-a-2)\}^2 - a = a^2 - 5a + 4 = (a-1)(a-4)$$

$$\frac{D_3}{4} = 2^2 - (a^2 - a - 2) = -(a^2 - a - 6) = -(a+2)(a-3)$$



(1) ①, ②, ③がいずれも実数解をもたないための条件は

$$D_1 < 0 \text{ かつ } D_2 < 0 \text{ かつ } D_3 < 0$$

$$D_1 < 0 \text{ から } (a+2)(a-6) < 0$$

$$\text{よって } -2 < a < 6 \text{ …… ④}$$

$$D_2 < 0 \text{ から } (a-1)(a-4) < 0$$

$$\text{よって } 1 < a < 4 \text{ …… ⑤}$$

$$D_3 < 0 \text{ から } -(a+2)(a-3) < 0$$

$$\text{よって } a < -2, 3 < a \text{ …… ⑥}$$

④, ⑤, ⑥の共通範囲を求めて

$$3 < a < 4$$

(2) 方程式①, ②, ③が実数解をもつための条件は、それぞれ

$$D_1 \geq 0, D_2 \geq 0, D_3 \geq 0$$

$$D_1 \geq 0 \text{ から } a \leq -2, 6 \leq a \text{ …… ⑦}$$

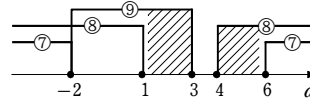
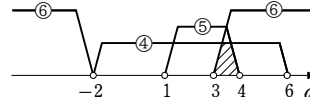
$$D_2 \geq 0 \text{ から } a \leq 1, 4 \leq a \text{ …… ⑧}$$

$$D_3 \geq 0 \text{ から } -2 \leq a \leq 3 \text{ …… ⑨}$$

⑦, ⑧, ⑨のうち、1つだけが成り立つ  $a$  の値の範囲が求まるものである。

したがって、右の図から

$$1 < a \leq 3, 4 \leq a < 6$$



【10】

【解答】 順に  $(\frac{1}{2}, \frac{7}{4})$ ,  $-1 < a < 0$

【解説】

(前半)  $y = |x(x-4)|$  …… ①,  $y = -\frac{9}{2}x + 4$  …… ② とする。

$$x(x-4) \geq 0 \text{ の解は } x \leq 0, 4 \leq x$$

$$x(x-4) < 0 \text{ の解は } 0 < x < 4$$

ゆえに、①は

$$x \leq 0, 4 \leq x \text{ のとき } y = x^2 - 4x = (x-2)^2 - 4$$

$$0 < x < 4 \text{ のとき } y = -(x^2 - 4x) = -(x-2)^2 + 4$$

よって、①のグラフは図の太線部分のようになる。

図から、①のグラフと直線②の共有点の  $x$  座標が正となるのは、 $0 < x < 4$  のときである。

$$-(x^2 - 4x) = -\frac{9}{2}x + 4 \text{ とすると } 2x^2 - 17x + 8 = 0$$

$$\text{すなわち } (x-8)(2x-1) = 0$$

$$0 < x < 4 \text{ であるから } x = \frac{1}{2}$$

$$\text{このとき、②から } y = \frac{7}{4}$$

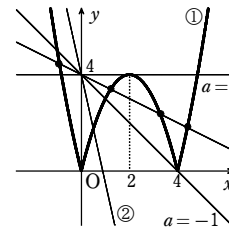
よって、求める点の座標は  $(\frac{1}{2}, \frac{7}{4})$

(後半) ①のグラフと直線  $y = ax + 4$  が4つの共有点をもつような  $a$  の値の範囲を、

図から調べると、

$$\text{直線 } y = ax + 4 \text{ が点 } (2, 4) \text{ を通るとき } a = 0$$

$$\text{直線 } y = ax + 4 \text{ が点 } (4, 0) \text{ を通るとき } a = -1$$



であるから  $-1 < a < 0$

【11】

【解答】  $k \leq -1, 2 < k$

【解説】

$(k^2 - 1)x^2 + 2(k+1)x + 3 > 0$  が  $x$  のすべての実数の値に対して成り立つ条件は

$$[1] \ k^2 - 1 > 0 \text{ かつ } D = \{2(k+1)\}^2 - 4(k^2 - 1) \cdot 3 < 0 \text{ または}$$

$$[2] \ k^2 - 1 = 0 \text{ かつ } 2(k+1) = 0$$

$$[1] \text{ から } (k+1)(k-1) > 0 \text{ かつ } -8(k+1)(k-2) < 0$$

$$\text{すなわち } k < -1, 1 < k \text{ かつ } k < -1, 2 < k$$

$$\text{よって } k < -1, 2 < k$$

$$[2] \text{ から } k = -1$$

したがって、[1], [2]から求める  $k$  の値の範囲は  $k \leq -1, 2 < k$

【12】

【解答】  $0 \leq a < 1, 5 < a \leq 6$

【解説】

2次不等式の左辺を因数分解すると  $(x-a)(x-3) < 0$  …… ①

$$[1] \ a < 3 \text{ のとき、①の解は } a < x < 3$$

これを満たす整数  $x$  がちょうど2個あるとき、その整数  $x$  は1, 2となる。

$$\text{よって } 0 \leq a < 1$$

$$[2] \ a = 3 \text{ のとき、①は } (x-3)^2 < 0 \text{ となるから、解はない。}$$

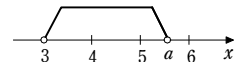
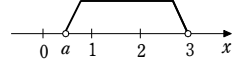
よって、条件を満たさない。

$$[3] \ a > 3 \text{ のとき、①の解は } 3 < x < a$$

これを満たす整数  $x$  がちょうど2個あるとき、その整数  $x$  は4, 5となる。

$$\text{よって } 5 < a \leq 6$$

以上から、求める  $a$  の値の範囲は  $0 \leq a < 1, 5 < a \leq 6$



章末問題B

1

【解答】 (1)  $n=0, 1$  (2)  $0 \leq x < 2$  (3)  $x = \frac{3}{2}$

【解説】

(1)  $n^2 - n - \frac{5}{4} = 0$  を解くと  $n = \frac{1 \pm \sqrt{6}}{2}$

よって、 $n^2 - n - \frac{5}{4} < 0$  を満たす  $n$  の範囲は  $\frac{1 - \sqrt{6}}{2} < n < \frac{1 + \sqrt{6}}{2}$

ここで、 $2 < \sqrt{6} < 3$  であるから  $-1 < \frac{1 - \sqrt{6}}{2} < -\frac{1}{2}$ ,  $\frac{3}{2} < \frac{1 + \sqrt{6}}{2} < 2$

ゆえに、 $n^2 - n - \frac{5}{4} < 0$  すなわち  $\frac{1 - \sqrt{6}}{2} < n < \frac{1 + \sqrt{6}}{2}$  を満たす整数  $n$  は

$n = 0, 1$

(2)  $[x] = n$  とおくと、不等式は  $n^2 - n - \frac{5}{4} < 0$

これを満たす整数  $n$  は、(1) より  $n = 0, 1$

$n = 0$  すなわち  $[x] = 0$  のとき  $0 \leq x < 1$

$n = 1$  すなわち  $[x] = 1$  のとき  $1 \leq x < 2$

よって、求める  $x$  の範囲は  $0 \leq x < 2$

(3) (i)  $0 \leq x < 1$  のとき

$[x] = 0$  であるから、方程式は  $x^2 - \frac{5}{4} = 0$  これを解くと  $x = \pm \frac{\sqrt{5}}{2}$

これらは、 $0 \leq x < 1$  を満たさないから不適。

(ii)  $1 \leq x < 2$  のとき

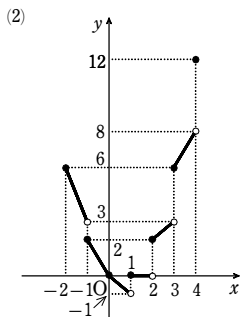
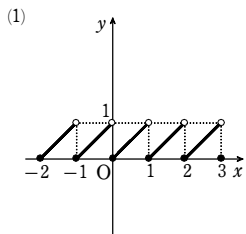
$[x] = 1$  であるから、方程式は  $x^2 - \frac{9}{4} = 0$  これを解くと  $x = \pm \frac{3}{2}$

$1 \leq x < 2$  であるから  $x = \frac{3}{2}$

(i), (ii) より、求める  $x$  は  $x = \frac{3}{2}$

2

【解答】 (1) [図] (2) [図]



【解説】

(1)  $y = x - [x]$  ( $-2 \leq x \leq 3$ )

$-2 \leq x < -1$  のとき  $[x] = -2$  よって  $y = x + 2$

$-1 \leq x < 0$  のとき  $[x] = -1$  よって  $y = x + 1$

$0 \leq x < 1$  のとき  $[x] = 0$  よって  $y = x$

$1 \leq x < 2$  のとき  $[x] = 1$

よって  $y = x - 1$

$2 \leq x < 3$  のとき  $[x] = 2$

よって  $y = x - 2$

$x = 3$  のとき  $[x] = 3$

よって  $y = 0$

グラフは右の図のようになる。

(2)  $y = x[x - 1]$  ( $-2 \leq x \leq 4$ )

$n$  を整数とする。

$n \leq x < n + 1$  のとき、 $[x - 1] = n - 1$  であるから

$y = (n - 1)x$

$-2 \leq x < -1$  のとき  $y = -3x$

$-1 \leq x < 0$  のとき  $y = -2x$

$0 \leq x < 1$  のとき  $y = -x$

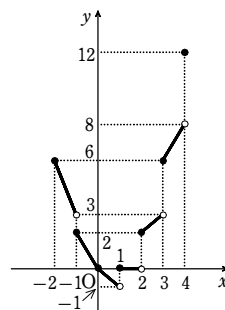
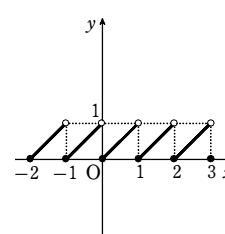
$1 \leq x < 2$  のとき  $y = 0$

$2 \leq x < 3$  のとき  $y = x$

$3 \leq x < 4$  のとき  $y = 2x$

$x = 4$  のとき  $y = 12$

グラフは右の図のようになる。



3

【解答】 (1)  $y = -6\left(x + \frac{3}{2}\right)^2 - \frac{1}{2}$  ( $y = -6x^2 - 18x - 14$ )

(2)  $(a, b) = (-4, 1), (-12, 9)$  (3)  $p = -1, q = \frac{3}{2}$

【解説】

(1)  $2x^2 + 6x + 4 = 2(x^2 + 3x) + 4 = 2\left(x^2 + 3x + \left(\frac{3}{2}\right)^2\right) - 2\left(\frac{3}{2}\right)^2 + 4 = 2\left(x + \frac{3}{2}\right)^2 - \frac{1}{2}$

よって、放物線  $y = 2x^2 + 6x + 4$  の頂点は点  $\left(-\frac{3}{2}, -\frac{1}{2}\right)$  であり、求める 2 次関数は

$y = a\left(x + \frac{3}{2}\right)^2 - \frac{1}{2}$  と表される。

このグラフが点  $(-1, -2)$  を通るから  $-2 = a\left(-1 + \frac{3}{2}\right)^2 - \frac{1}{2}$

これを解くと  $a = -6$

よって、求める 2 次関数は  $y = -6\left(x + \frac{3}{2}\right)^2 - \frac{1}{2}$  ( $y = -6x^2 - 18x - 14$  でもよい)

(2) 放物線  $y = 4x^2 + ax + b$  は点  $(1, 1)$  を通るから  $1 = 4 + a + b$

よって  $b = -a - 3$  ……①

また、 $x$  軸に接するから、2 次方程式  $4x^2 + ax + b = 0$  の判別式を  $D$  とすると

$D = a^2 - 4 \cdot 4b = 0$  すなわち  $a^2 - 16b = 0$

この等式に①を代入して  $a^2 + 16a + 48 = 0$

よって  $(a + 4)(a + 12) = 0$  ゆえに  $a = -4, -12$

①から  $a = -4$  のとき  $b = 1$ ,  $a = -12$  のとき  $b = 9$

ゆえに  $(a, b) = (-4, 1), (-12, 9)$

【別解】 放物線  $y = 4x^2 + ax + b$  は  $x$  軸に接するから、その方程式は  $y = 4(x - p)^2$  と表さ

れる。

点  $(1, 1)$  を通るから  $1 = 4(1 - p)^2$

よって  $\pm 1 = 2(1 - p)$  ゆえに  $p = \frac{1}{2}, \frac{3}{2}$  ……①

$y = 4(x - p)^2$  から  $y = 4x^2 - 8px + 4p^2$

これが  $y = 4x^2 + ax + b$  と一致するから  $a = -8p, b = 4p^2$

①を代入して  $(a, b) = (-4, 1), (-12, 9)$

(3) 放物線  $y = \frac{1}{2}x^2$  を  $x$  軸方向に  $p$ ,  $y$  軸方向に  $q$  だけ平行移動した放物線の方程式は

$y = \frac{1}{2}(x - p)^2 + q$  すなわち  $y = \frac{1}{2}x^2 - px + \frac{1}{2}p^2 + q$  ……①

と表される。

①と  $y = -x$ , ①と  $y = 3x$  をそれぞれ連立させて

$\frac{1}{2}x^2 - px + \frac{1}{2}p^2 + q = -x$ ,  $\frac{1}{2}x^2 - px + \frac{1}{2}p^2 + q = 3x$

よって  $x^2 - 2(p - 1)x + p^2 + 2q = 0$  ……②,

$x^2 - 2(p + 3)x + p^2 + 2q = 0$  ……③

②の判別式を  $D_1$ , ③の判別式を  $D_2$  とすると

$\frac{D_1}{4} = \{-(p - 1)\}^2 - (p^2 + 2q) = -2p - 2q + 1$

$\frac{D_2}{4} = \{-(p + 3)\}^2 - (p^2 + 2q) = 6p - 2q + 9$

放物線①が直線  $y = -x$  と直線  $y = 3x$  の両方に接するための条件は

$D_1 = 0, D_2 = 0$

よって  $-2p - 2q + 1 = 0, 6p - 2q + 9 = 0$

この 2 式を連立して解くと  $p = -1, q = \frac{3}{2}$

4

【解答】 最大値 4, 最小値 0

【解説】

(与式)  $= \{x + (y - 1)\}^2 + \{x - (y - 1)\}^2 = 2\{x^2 + (y - 1)^2\}$

$0 \leq x \leq 1$  の範囲において、 $x^2$  は

$x = 1$  で最大値 1,  $x = 0$  で最小値 0 をとり、

$0 \leq y \leq 1$  の範囲において、 $(y - 1)^2$  は

$y = 0$  で最大値 1,  $y = 1$  で最小値 0 をとる。

よって、与式は  $x = 1, y = 0$  のとき最大値  $2(1 + 1) = 4$ ,

$x = 0, y = 1$  のとき最小値  $2(0 + 0) = 0$  をとる。

5

【解答】 (1)  $-2 - 2\sqrt{2} \leq a \leq -2 + 2\sqrt{2}$  (2)  $a \leq -6 + 4\sqrt{3}$

【解説】

(1)  $f(x) = (x - 1)^2 + 1, g(x) = -\left(x - \frac{a}{2}\right)^2 + \frac{a^2}{4} + a$

求める条件は  $[f(x) \text{ の最小値}] \geq [g(x) \text{ の最大値}]$

よって  $1 \geq \frac{a^2}{4} + a$  ゆえに  $a^2 + 4a - 4 \leq 0$

これを解くと  $-2 - 2\sqrt{2} \leq a \leq -2 + 2\sqrt{2}$

章末問題B

(2)  $f(x) - g(x) = h(x)$  とおくと

$$h(x) = 2x^2 - (a+2)x + 2 - a = 2\left(x - \frac{a+2}{4}\right)^2 - \frac{1}{8}(a+2)^2 + 2 - a$$

$$= 2\left(x - \frac{a+2}{4}\right)^2 - \frac{1}{8}a^2 - \frac{3}{2}a + \frac{3}{2}$$

$y = h(x)$  のグラフは下に凸の放物線で、軸は直線  $x = \frac{a+2}{4}$  である。

求める条件は、 $0 \leq x \leq 1$  において  $h(x) \geq 0$

[1]  $\frac{a+2}{4} < 0$  すなわち  $a < -2$  のとき

求める条件は  $h(0) \geq 0$  すなわち  $2 - a \geq 0$

よって  $a \leq 2$

$a < -2$  との共通範囲は  $a < -2$  …… ①

[2]  $0 \leq \frac{a+2}{4} \leq 1$  すなわち  $-2 \leq a \leq 2$  のとき

求める条件は  $-\frac{1}{8}a^2 - \frac{3}{2}a + \frac{3}{2} \geq 0$

ゆえに  $a^2 + 12a - 12 \leq 0$

これを解くと  $-6 - 4\sqrt{3} \leq a \leq -6 + 4\sqrt{3}$

$-2 \leq a \leq 2$  との共通範囲は  $-2 \leq a \leq -6 + 4\sqrt{3}$  …… ②

[3]  $1 < \frac{a+2}{4}$  すなわち  $a > 2$  のとき

求める条件は  $h(1) \geq 0$  すなわち  $2 - a - 2 + 2 - a \geq 0$

よって  $a \leq 1$   $a > 2$  との共通範囲はない。

以上から、求める  $a$  の値の範囲は、①、②を合わせて  $a \leq -6 + 4\sqrt{3}$

6

【解答】 (1)  $t \geq 1$  (2)  $a < 1$  のとき  $m = 1 - a$ ,  $a \geq 1$  のとき  $m = -a^2 + a$

【解説】

(1)  $t = x^2 + 2x + 2$  から  $t = (x+1)^2 + 1$

よって、 $x$  がすべての実数値をとって変化するとき、 $t$  のとりうる値の範囲は  $t \geq 1$

(2)  $f(x)$  を変数  $t$  の式で表すと

$$f(x) = t^2 - 2at + a$$

$$= (t-a)^2 - a^2 + a$$

$y = (t-a)^2 - a^2 + a$  ( $t \geq 1$ ) …… ①

とする。

[1]  $a < 1$  のとき

①のグラフは右の図のようになり、 $y$  は  $t=1$  で最小値をとる。

よって  $m = 1^2 - 2a \cdot 1 + a$

$$= 1 - a$$

[2]  $1 \leq a$  のとき

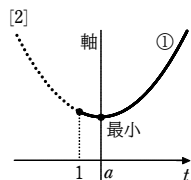
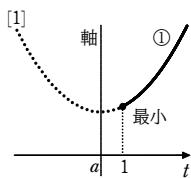
①のグラフは右の図のようになり、 $y$  は  $t=a$  で最小値をとる。

よって  $m = -a^2 + a$

[1], [2] から

$a < 1$  のとき  $m = 1 - a$ ,

$a \geq 1$  のとき  $m = -a^2 + a$



7

【解答】 (1) [図]の実線部分

(2)  $0 < a \leq \frac{4}{3}$  のとき  $M(a) = \frac{a^2}{8}$ ,

$a > \frac{4}{3}$  のとき  $M(a) = -a^2 + 3a - 2$

【解説】

(1)  $a > 0$  であるから

[1]  $x < 0$  のとき

$$f(x) = x - (x-a) - (-x)$$

$$= x - x + a + x = ax$$

[2]  $0 \leq x < a$  のとき

$$f(x) = x - (x-a) - x = x - x + a - x = -x$$

$$= -2x^2 + ax = -2\left(x - \frac{a}{4}\right)^2 + \frac{a^2}{8}$$

[3]  $a \leq x$  のとき  $f(x) = x(x-a) - x = -ax$

したがって、グラフは図の実線部分のようになる。

(2) (1)の図から、定義域が実数全体のとき、 $f(x)$  は  $x = \frac{a}{4}$  で最大となる。

$\frac{a}{4}$  と  $a+1$ ,  $a-1$  の大小関係を調べると、 $a > 0$  であるから

$(a+1) - \frac{a}{4} = \frac{3}{4}a + 1 > 0$  よって、常に  $\frac{a}{4} < a+1$  が成り立つ。

また  $(a-1) - \frac{a}{4} = \frac{3}{4}a - 1 = \frac{3}{4}\left(a - \frac{4}{3}\right)$

[1]  $0 < a \leq \frac{4}{3}$  のとき  $a-1 \leq \frac{a}{4}$

$a-1 \leq \frac{a}{4} < a+1$  が成り立つから

$$M(a) = f\left(\frac{a}{4}\right) = \frac{a^2}{8}$$

[2]  $a > \frac{4}{3}$  のとき  $\frac{a}{4} < a-1$

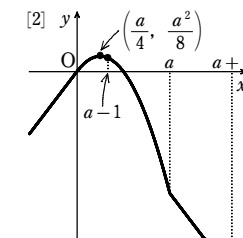
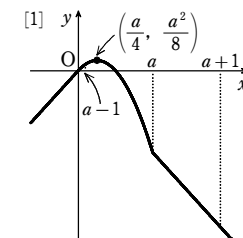
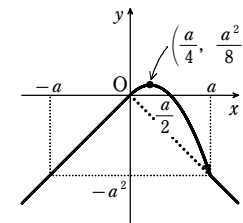
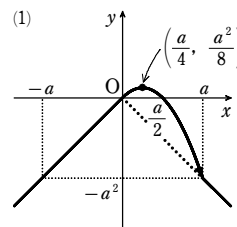
$a-1 < a$  であるから

$$M(a) = f(a-1)$$

$$= -2(a-1)^2 + a(a-1)$$

$$= -(a-1)(a-2)$$

$$= -a^2 + 3a - 2$$



8

【解答】 (1)  $-3 \leq x \leq 5$  (2)  $k = 0, -4$

【解説】

(1) 実数  $\alpha$  が方程式 ① の解となるための条件は

$$\alpha^2 + k\alpha + k^2 + 3k - 9 = 0 \text{ すなわち } k^2 + (\alpha+3)k + \alpha^2 - 9 = 0 \text{ …… ②}$$

を満たす実数  $k$  が存在することである。

② を  $k$  の2次方程式とみて、その判別式を  $D$  とすると

$$D = (\alpha+3)^2 - 4(\alpha^2 - 9) = -3\alpha^2 + 6\alpha + 45$$

$$= -3(\alpha^2 - 2\alpha - 15) = -3(\alpha+3)(\alpha-5)$$

求める条件は、 $D \geq 0$  であるから  $(\alpha+3)(\alpha-5) \leq 0$

これを解くと  $-3 \leq \alpha \leq 5$

したがって、求める解の値の範囲は  $-3 \leq x \leq 5$

(2) ① を  $x$  について解くと

$$x = \frac{-k \pm \sqrt{k^2 - 4(k^2 + 3k - 9)}}{2} = \frac{-k \pm \sqrt{-3(k^2 + 4k - 12)}}{2}$$

ここで、 $-3(k^2 + 4k - 12) = D'$  とおく。

① が異なる2つの整数解をもつとき、 $D' > 0$  から  $k^2 + 4k - 12 < 0$

ゆえに  $(k+6)(k-2) < 0$  よって  $-6 < k < 2$

この不等式を満たす整数  $k$  の値は

$k = -5, -4, -3, -2, -1, 0, 1$  …… ③

一方、方程式 ① は異なる2つの整数解をもつから、 $x = \frac{-k \pm \sqrt{D'}}{2}$  において、 $D'$  は

0でない平方数である。

$D' = 48 - 3(k+2)^2$  と変形できるから、これに③の  $k$  の値を代入して  $D'$  が0でない平方数となるものを調べると  $k = 0, -4$

$k = 0$  のとき、 $D' = 6^2$  となるから  $x = \pm \frac{6}{2} = \pm 3$

$k = -4$  のとき、 $D' = 6^2$  となるから  $x = \frac{4 \pm 6}{2}$  すなわち  $x = 5, -1$

いずれの場合も、2つの解は異なる整数となる。

以上により、求める  $k$  の値は  $k = 0, -4$

9

【解答】  $a \leq -1 - \sqrt{2}$ ,  $-1 + \sqrt{2} \leq a$

【解説】

$x(x-2a) \leq a^2$  から  $x^2 - 2ax - a^2 \leq 0$

したがって、 $0 \leq x \leq 1$  における  $f(x) = x^2 - 2ax - a^2$  の最大値が0以下となる条件を求める。

$f(x) = (x-a)^2 - 2a^2$  であるから、軸は直線  $x = a$

変域の中央の値は  $\frac{1}{2}$

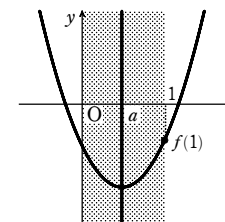
[1]  $a < \frac{1}{2}$  のとき

$f(x)$  の最大値は  $f(1) = 1 - 2a - a^2$

よって  $1 - 2a - a^2 \leq 0$

ゆえに  $a^2 + 2a - 1 \geq 0$

$a^2 + 2a - 1 = 0$  を解くと



章末問題B

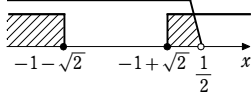
$$a = -1 \pm \sqrt{1^2 - 1 \cdot (-1)} = -1 \pm \sqrt{2}$$

よって、 $a^2 + 2a - 1 \geq 0$ の解は

$$a \leq -1 - \sqrt{2}, -1 + \sqrt{2} \leq a$$

これと  $a < \frac{1}{2}$  の共通範囲は

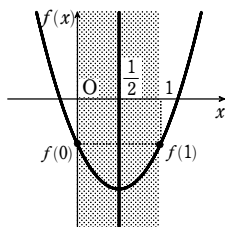
$$a \leq -1 - \sqrt{2}, -1 + \sqrt{2} \leq a < \frac{1}{2} \dots\dots ①$$



[2]  $a = \frac{1}{2}$  のとき

$$f(x) \text{ の最大値は } f(0) = f(1) = -\frac{1}{4}$$

$$-\frac{1}{4} \leq 0 \text{ であるから } a = \frac{1}{2} \dots\dots ②$$

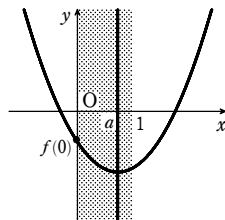


[3]  $\frac{1}{2} < a$  のとき

$$f(x) \text{ の最大値は } f(0) = -a^2$$

$$-a^2 \leq 0 \text{ は常に成り立つから } \frac{1}{2} < a \dots\dots ③$$

以上から、求める  $a$  の値の範囲は、①、②、③を合わせて  $a \leq -1 - \sqrt{2}, -1 + \sqrt{2} \leq a$

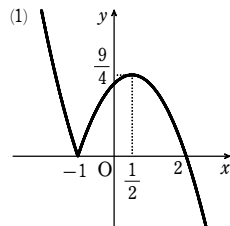


章末問題C

[1]

解答 (1) [図] (2)  $t = -\sqrt{2}$

$$(3) t \leq -\sqrt{2}, \frac{1}{2} \leq t$$



解説

(1)  $x < -1$  のとき

$$f(x) = (2-x)(-(x+1)) = x^2 - x - 2 = \left(x - \frac{1}{2}\right)^2 - \frac{9}{4}$$

$x \geq -1$  のとき

$$f(x) = (2-x)(x+1) = -x^2 + x + 2 = -\left(x - \frac{1}{2}\right)^2 + \frac{9}{4}$$

よって、 $y = f(x)$  のグラフは右の図のようになる。

(2) (1)のグラフから、最大値  $g(t)$  を与える  $x$  の値が2つあるとき、 $t < -1 < t+1 \dots\dots ①$  であり

$$g(t) = f(t) = f(t+1) \dots\dots ②$$

$t < -1$  のとき  $f(t) = t^2 - t - 2$

$t+1 > -1$  のとき  $f(t+1) = -(t+1)^2 + (t+1) + 2 = -t^2 - t + 2$

よって、②から  $t^2 - t - 2 = -t^2 - t + 2$  ゆえに  $t^2 = 2$

①より  $-2 < t < -1$  であるから  $t = -\sqrt{2}$

(3)  $g(t) = f(t)$  となるのは、 $f(x)$  が  $t \leq x \leq t+1$  の範囲において、 $x=t$  (区間の左端) で最大値をとるときである。

(1)のグラフと(2)の結果から、 $g(t) = f(t)$  を満たす  $t$  の範囲は  $t \leq -\sqrt{2}, \frac{1}{2} \leq t$

[2]

解答  $a = -1, 6 - 2\sqrt{10} < a < 2, 2 < a < 6 + 2\sqrt{10}$

解説

$y = |x^2 + ax + 2a| \dots\dots ①, y = a+1 \dots\dots ②$  とする。

方程式の実数解の個数は、①のグラフと直線②の共有点の個数に一致する。

$$\text{まず } x^2 + ax + 2a = \left(x + \frac{a}{2}\right)^2 + \frac{8a - a^2}{4}$$

$8a - a^2 > 0$  を解くと、 $a(a-8) < 0$  から  $0 < a < 8$

$8a - a^2 = 0$  を解くと、 $a(a-8) = 0$  から  $a = 0, 8$

$8a - a^2 < 0$  を解くと、 $a(a-8) > 0$  から  $a < 0, 8 < a$

[1]  $0 < a < 8$  のとき

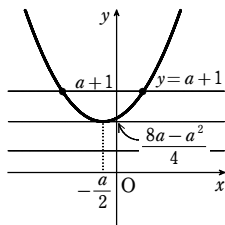
すべての実数  $x$  について  $x^2 + ax + 2a > 0$

①のグラフは図のようになる。

よって、①のグラフと直線②が異なる2点で交わるための条件は

$$a+1 > \frac{8a - a^2}{4}$$

整理すると  $a^2 - 4a + 4 > 0$



したがって  $(a-2)^2 > 0$

この不等式の解は  $a \neq 2$

$0 < a < 8$  との共通範囲は  $0 < a < 2, 2 < a < 8$

[2]  $a = 0$  のとき、①は  $y = x^2$ , ②は  $y = 1$

$a = 8$  のとき、①は  $y = (x+4)^2$ , ②は  $y = 9$

それぞれの場合について、①のグラフと直線②は異なる2点で交わるから、 $a = 0, 8$  は条件を満たす。

[3]  $a < 0, 8 < a$  のとき

①のグラフは図のようになる。

よって、①のグラフと直線②が異なる2点で交わるための条件は  $a+1 = 0$  または

$$a+1 > -\frac{8a - a^2}{4} \dots\dots ③$$

$a+1 = 0$  から  $a = -1$

③を整理すると  $a^2 - 12a - 4 < 0$

この不等式の解は  $6 - 2\sqrt{10} < a < 6 + 2\sqrt{10}$

これと  $a = -1$  と  $a < 0, 8 < a$  との共通範囲は

$$a = -1, 6 - 2\sqrt{10} < a < 0, 8 < a < 6 + 2\sqrt{10}$$

[1], [2], [3]から、求める  $a$  の値の範囲は

$$a = -1, 6 - 2\sqrt{10} < a < 2, 2 < a < 6 + 2\sqrt{10}$$

[3]

解答 (1)  $x = \frac{6\sqrt{5}}{5}, y = \frac{4\sqrt{5}}{5}$  のとき最大値  $2\sqrt{5}$

(2)  $x = \sqrt{7}, y = \frac{-1 + \sqrt{7}}{2}$  のとき最大値  $\frac{-1 + \sqrt{7}}{3}$

解説

$x^2 - 2xy + 2y^2 = 4 \dots\dots ①$  とする。

(1)  $x + y = s$  とおくと  $y = -x + s \dots\dots ②$

これを①に代入すると  $x^2 - 2x(-x+s) + 2(-x+s)^2 = 4$

整理すると  $5x^2 - 6sx + 2s^2 - 4 = 0 \dots\dots ③$

$x$  は実数であるから、 $x$  の2次方程式③の判別式を  $D$  とすると  $D \geq 0$

$$\text{ここで } \frac{D}{4} = (-3s)^2 - 5(2s^2 - 4) = -s^2 + 20$$

よって  $-s^2 + 20 \geq 0$  ゆえに  $-2\sqrt{5} \leq s \leq 2\sqrt{5}$

$s = 2\sqrt{5}$  のとき  $D = 0$  で、③は重解  $x = -\frac{-3s}{5} = \frac{3s}{5} = \frac{6\sqrt{5}}{5}$  をもつ。

このとき、②から  $y = -\frac{6\sqrt{5}}{5} + 2\sqrt{5} = \frac{4\sqrt{5}}{5}$

よって、 $x + y$  は  $x = \frac{6\sqrt{5}}{5}, y = \frac{4\sqrt{5}}{5}$  のとき最大値  $2\sqrt{5}$  をとる。

(2)  $\frac{x}{y+4} = t$  とおくと  $x = t(y+4) \dots\dots ④$

これを①に代入すると  $\{t(y+4)\}^2 - 2t(y+4)y + 2y^2 = 4$

整理すると  $(t^2 - 2t + 2)y^2 + 8t(t-1)y + 16t^2 - 4 = 0 \dots\dots ⑤$

ここで  $t^2 - 2t + 2 = (t-1)^2 + 1 \geq 1 > 0$

$y$  は実数であるから、 $y$  の2次方程式⑤の判別式を  $D'$  とすると  $D' \geq 0$



章末問題C

ここで  $\frac{D'}{4} = [4t(t-1)]^2 - (t^2 - 2t + 2)(16t^2 - 4) = -12t^2 - 8t + 8$

よって  $-12t^2 - 8t + 8 \geq 0$  ゆえに  $3t^2 + 2t - 2 \leq 0$

したがって  $\frac{-1-\sqrt{7}}{3} \leq t \leq \frac{-1+\sqrt{7}}{3}$

$t = \frac{-1+\sqrt{7}}{3}$  のとき  $D' = 0$  で、⑤は重解  $y = -\frac{4t(t-1)}{t^2-2t+2}$  をもつ。

このとき、 $3t^2 + 2t - 2 = 0$  が成り立つから  $t^2 = \frac{2}{3} - \frac{2}{3}t$

ゆえに  $y = -\frac{4t(t-1)}{(\frac{2}{3} - \frac{2}{3}t) - 2t + 2} = -\frac{4t(t-1)}{-\frac{8}{3}(t-1)} = \frac{3}{2}t$

$= \frac{3}{2} \cdot \frac{-1+\sqrt{7}}{3} = \frac{-1+\sqrt{7}}{2}$

④から  $x = \frac{-1+\sqrt{7}}{3} \left( \frac{-1+\sqrt{7}}{2} + 4 \right) = \sqrt{7}$

よって、 $\frac{x}{y+4}$  は  $x = \sqrt{7}$ 、 $y = \frac{-1+\sqrt{7}}{2}$  のとき最大値  $\frac{-1+\sqrt{7}}{3}$  をとる。

4

【解答】  $-2 \leq \frac{x^2+4x+1}{x^2+x+1} \leq 2$

【解説】

$\frac{x^2+4x+1}{x^2+x+1} = k$  とおく。

分母を払って、 $x$  について整理すると  $(k-1)x^2 + (k-4)x + k-1 = 0$   
 $k \neq 1$  のとき、 $x$  が実数であるためには、判別式  $D$  について  $D \geq 0$

$D = (k-4)^2 - 4(k-1)^2 = -3k^2 + 12 = -3(k+2)(k-2) \geq 0$

よって  $-2 \leq k \leq 2$  ( $k \neq 1$ )

$k=1$  のとき  $x=0$  (実数)

以上から  $-2 \leq k \leq 2$  すなわち  $-2 \leq \frac{x^2+4x+1}{x^2+x+1} \leq 2$

5

【解答】 (1) 共通の解を  $x$  とする。

$a=0$  または  $b=0$  のとき  $x=0$  ;

$(a, b) = (1, -\frac{1}{2}), (-\frac{1}{2}, 1)$  のとき  $x = -\frac{1}{2}$

(2) 略

【解説】

(1) 共通の解を  $a$  とすると

$a^2 + aa + ab^2 = 0$  ……③,  $a^2 + ba + a^2b = 0$  ……④

③-④から  $(a-b)a - ab(a-b) = 0$

すなわち  $(a-b)(a-ab) = 0$

$a \neq b$  であるから  $a = ab$

これを③に代入すると  $(ab)^2 + a(ab) + ab^2 = 0$

すなわち  $ab(ab+a+b) = 0$

よって  $a=0$  または  $b=0$  または  $ab+a+b=0$

[1]  $a=0$  のとき

①は  $x^2=0$  よって、 $x=0$  を重解にもつ。

②は  $x^2+bx=0$  よって  $x=0, -b$  ( $\neq 0$ )

したがって、共通の解は  $x=0$

[2]  $b=0$  のとき

[1]と同様にして、①の解は  $x=0, -a$  ( $\neq 0$ )

②は  $x=0$  を重解にもつ。共通の解は  $x=0$

[3]  $a \neq 0, b \neq 0, ab+a+b=0$  のとき  $ab = -(a+b)$  ……⑤

⑤を①に代入すると  $x^2+ax-b(a+b)=0$

すなわち  $(x+a+b)(x-b)=0$

⑤を②に代入すると  $x^2+bx-a(a+b)=0$

すなわち  $(x+a+b)(x-a)=0$

(ア) ①が重解をもつとき  $-(a+b)=b$

⑤から  $ab=b$   $b \neq 0$  であるから  $a=1$

このとき  $2b+1=0$  よって  $b = -\frac{1}{2}$

①は  $(x+\frac{1}{2})^2=0$ , ②は  $(x+\frac{1}{2})(x-1)=0$

したがって、共通の解は  $x = -\frac{1}{2}$

(イ) ②が重解をもつとき  $-(a+b)=a$

(ア)と同様にして  $a = -\frac{1}{2}, b=1$

①は  $(x+\frac{1}{2})(x-1)=0$ , ②は  $(x+\frac{1}{2})^2=0$

したがって、共通の解は  $x = -\frac{1}{2}$

以上から、共通の解は  $a=0$  または  $b=0$  のとき  $x=0$

$(a, b) = (1, -\frac{1}{2}), (-\frac{1}{2}, 1)$  のとき  $x = -\frac{1}{2}$

(2) ①と②が共通の解をもち、どちらも重解をもたないのは、(1)の[3]の場合であり、共通でない解は  $a$  と  $b$  である。

$a > 0$  かつ  $b > 0$  であると仮定すると  $ab > 0$

また、⑤により、 $ab = -(a+b) < 0$  となるが、これは矛盾である。

よって、 $a, b$  の少なくとも一方は負である。

したがって、題意は示された。

6

【解答】 (1) 略 (2) 略 (3)  $\alpha < \alpha < \beta < \alpha + b$

【解説】

(1) 2次方程式の判別式を  $D$  とすると

$D = [-(a+b)]^2 - 4(ab-cd) = (a-b)^2 + 4cd$

$a, b, c, d$  は正の実数であるから  $(a-b)^2 \geq 0, 4cd > 0$

したがって  $D > 0$

よって、この2次方程式は異なる2つの実数解をもつ。

(2)  $f(x) = x^2 - (a+b)x + ab - cd$  とする。

2次方程式  $f(x) = 0$  は、異なる2つの実数解をもつから、 $y = f(x)$  のグラフは  $x$  軸と異なる2点で交わる。

また、 $y = f(x)$  のグラフの軸は 直線  $x = \frac{a+b}{2}$

$a, b$  は正の実数であるから  $\frac{a+b}{2} > 0$

よって、 $y = f(x)$  のグラフは  $x$  軸の正の部分と少なくとも1点で交わる。すなわち、この2次方程式の2つの解のうち少なくとも1つは正の数である。

(3)  $f(a) = a^2 - (a+b)a + ab - cd = -cd$

$c, d$  は正の実数であるから  $f(a) < 0$

$y = f(x)$  のグラフは  $\alpha < x < \beta$  のときだけ  $x$  軸の下側にある。

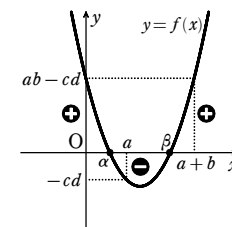
よって  $\alpha < a < \beta$  ……①

また、 $0 < \alpha < \beta$  であるから  $f(0) = ab - cd > 0$

ゆえに  $f(a+b) = ab - cd > 0$

よって  $\beta < a+b$  ……②

①, ②から  $\alpha < a < \beta < a+b$



7

【解答】 2個

【解説】

$\begin{cases} x^2 - 2kx + k < 0 & \dots\dots ① \\ kx^2 - 2x < 0 & \dots\dots ② \end{cases}$

$\begin{cases} x^2 - 2kx + k < 0 & \dots\dots ① \\ kx^2 - 2x < 0 & \dots\dots ② \end{cases}$

①の左辺を  $f(x)$  とすると  $f(x) = (x-k)^2 - k^2 + k$

$k=1$  のとき、 $f(x) = (x-1)^2$  となるから、①は解をもたない。

$k \geq 2$  のとき、 $-k^2 + k = -k(k-1) < 0$  であるから、①は解をもつ。 ……(\*)

②から  $x(kx-2) < 0$  よって  $0 < x < \frac{2}{k}$  ……③

したがって、連立不等式①, ②が解をもつための条件は、 $f(x) = 0$  が③の範囲で解をもつことである。

すなわち、 $y = f(x)$  のグラフが③の範囲で  $x$  軸と共有点をもつことである。

$k \geq 2$  のとき、(\*)により、 $y = f(x)$  のグラフは  $x$  軸と異なる2点で交わる。

また  $f(0) = k > 0$

軸について  $x = k > \frac{2}{k}$

よって、 $y = f(x)$  のグラフが③の範囲で  $x$  軸と共有点をもつための条件は、③の範囲で  $x$  軸と1点で交わることである

$f(\frac{2}{k}) = \frac{4}{k^2} - 4 + k = \frac{k^3 - 4k^2 + 4}{k^2} < 0$

したがって  $k^3 - 4k^2 + 4 < 0$

すなわち  $k^2(k-4) + 4 < 0$

これは  $k=2, 3$  のとき成り立ち、 $k \geq 4$  のときは成り立たない。

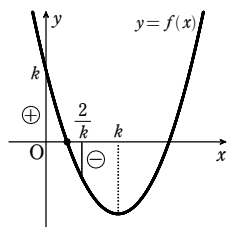
よって、求める自然数  $k$  の個数は 2個

【別解】  $k \geq 2$  のとき、①の解は  $k - \sqrt{k^2 - k} < x < k + \sqrt{k^2 - k}$

よって、連立不等式①, ②が解をもつための条件は

$k - \sqrt{k^2 - k} < \frac{2}{k}$  すなわち  $k - \frac{2}{k} < \sqrt{k^2 - k}$

$k \geq 2$  のとき、左辺は正であるから、両辺を2乗すると  $k^2 - 4 + \frac{4}{k^2} < k^2 - k$



章末問題C

分母を払って整理すると  $k^3 - 4k^2 + 4 < 0$  (以後, 上と同じ)

[8]

解答  $a \geq 1$

解説

与えられた不等式を  $y$  について整理すると

$$y^2 - (z+x)y + a(z^2 + x^2) - zx \geq 0$$

これが任意の実数  $y$  に対して常に成り立つための条件は,  $y$  についての2次方程式

$$y^2 - (z+x)y + a(z^2 + x^2) - zx = 0 \text{ の判別式を } D_1 \text{ とすると, } y^2 \text{ の係数が正であるから}$$

$$D_1 \leq 0 \text{ すなわち } (z+x)^2 - 4[a(z^2 + x^2) - zx] \leq 0$$

これを  $z$  について整理すると

$$(1-4a)z^2 + 6xz + (1-4a)x^2 \leq 0 \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

$1-4a=0$  のとき,  $\textcircled{1}$  は  $6xz \leq 0$  となるが, これは例えば  $x=1, z=1$  のとき成り立たないから不適である。

$1-4a \neq 0$  のとき,  $z$  の方程式  $(1-4a)z^2 + 6xz + (1-4a)x^2 = 0$  の判別式を  $D_2$  とすると,

$\textcircled{1}$  が任意の実数  $z$  に対して常に成り立つための条件は  $1-4a < 0$  かつ  $D_2 \leq 0$

$$\text{ゆえに } 1-4a < 0 \text{ かつ } \frac{D_2}{4} = (3x)^2 - (1-4a) \cdot (1-4a)x^2 \leq 0$$

$$\text{すなわち } a > \frac{1}{4} \text{ かつ } 8(1-a)(1+2a)x^2 \leq 0 \quad \dots\dots \textcircled{2}$$

$\textcircled{2}$  が任意の実数  $x$  に対して常に成り立つための条件は  $(1-a)(1+2a) \leq 0$

$$\text{すなわち } (a-1)(2a+1) \geq 0 \quad \text{よって } a \leq -\frac{1}{2}, 1 \leq a$$

これと  $a > \frac{1}{4}$  の共通範囲を求めて  $a \geq 1$

[9]

解答  $2 \leq a < 2 + 2\sqrt{2}$

解説

$f(x) = (x+a)(x+2)$  から

$$f(f(x)) = (f(x) + a)(f(x) + 2) = ((x+a)(x+2) + a)((x+a)(x+2) + 2) \\ = [x^2 + (a+2)x + 3a][x^2 + (a+2)x + 2a + 2]$$

ここで,  $a \geq 2$  であるから  $x^2 + (a+2)x + 3a \geq x^2 + (a+2)x + 2a + 2$

また,  $x^2 + (a+2)x + 3a, x^2 + (a+2)x + 2a + 2$  の  $x^2$  の係数はともに正であるから

すべての実数  $x$  に対して  $f(f(x)) > 0$

$\Leftrightarrow$  すべての実数  $x$  に対して

$$x^2 + (a+2)x + 3a > 0 \text{ かつ } x^2 + (a+2)x + 2a + 2 > 0$$

$\Leftrightarrow$  すべての実数  $x$  に対して  $x^2 + (a+2)x + 2a + 2 > 0 \quad \dots\dots \textcircled{1}$

$x^2 + (a+2)x + 2a + 2 = 0$  の判別式を  $D$  とすると

$$D = (a+2)^2 - 4 \cdot 1 \cdot (2a+2) = a^2 - 4a - 4$$

$\textcircled{1}$  が成り立つための条件は  $D < 0$

$$\text{よって } a^2 - 4a - 4 < 0 \quad \text{ゆえに } 2 - 2\sqrt{2} < a < 2 + 2\sqrt{2}$$

$a \geq 2$  であるから, 求める  $a$  の値の範囲は  $2 \leq a < 2 + 2\sqrt{2}$

[10]

解答  $x = -2, -\frac{2}{5}, \frac{2}{3}, \frac{6}{5}$

解説

条件(B)から  $f(x+2) = -f(x+1) + 1 = -(-f(x) + 1) + 1 = f(x)$

よって,  $f(x)$  は周期2の周期関数である。

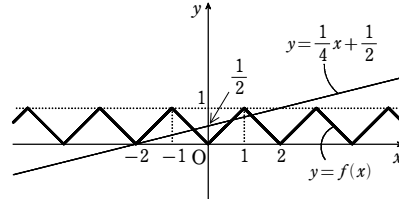
また, 条件(A), (B)から,  $0 \leq x < 1$  のとき  $f(x+1) = -f(x) + 1 = -x + 1$

$x+1 = X$  とおくと,  $x = X-1$  であり

$$f(X) = -(X-1) + 1 = -X + 2 \quad (1 \leq X < 2)$$

ゆえに,  $1 \leq x < 2$  のとき  $f(x) = -x + 2$

以上から,  $y = f(x)$  のグラフは次の図の太線部分のようになる。



方程式  $f(x) - \frac{1}{4}x - \frac{1}{2} = 0$  の解は,  $y = f(x)$  のグラフと直線  $y = \frac{1}{4}x + \frac{1}{2}$  の共有点の

$x$  座標と一致する。共有点の  $x$  座標は

[1]  $-2 \leq x < -1$  のとき  $x = -2$

[2]  $-1 \leq x < 0$  のとき  $f(x) = -x$

$$-x - \frac{1}{4}x - \frac{1}{2} = 0 \text{ を解くと } x = -\frac{2}{5}$$

[3]  $0 \leq x < 1$  のとき  $f(x) = x$

$$x - \frac{1}{4}x - \frac{1}{2} = 0 \text{ を解くと } x = \frac{2}{3}$$

[4]  $1 \leq x < 2$  のとき  $f(x) = -x + 2$

$$-x + 2 - \frac{1}{4}x - \frac{1}{2} = 0 \text{ を解くと } x = \frac{6}{5}$$

以上から, 求める解は  $x = -2, -\frac{2}{5}, \frac{2}{3}, \frac{6}{5}$

[11]

解答  $k = 4, 5$

解説

$5n^2 - 2kn + 1 < 0 \quad \dots\dots \textcircled{1}$  とし,  $f(x) = 5x^2 - 2kx + 1$  とする。

$f(n) < 0$  を満たす整数  $n$  が存在するとき,  $y = f(x)$  のグラフは  $x$  軸と異なる2点で交わるから,  $f(x) = 0$  の判別式を  $D$  とすると  $D > 0$

$$\frac{D}{4} = (-k)^2 - 5 \cdot 1 = k^2 - 5 \text{ であるから } k^2 - 5 > 0 \text{ すなわち } k^2 > 5$$

$k$  は正の整数であるから  $k \geq 3$

[1]  $k = 3$  のとき

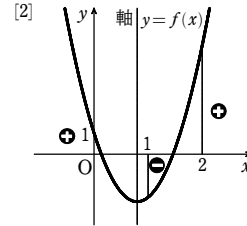
$$f(x) = 5x^2 - 6x + 1 = (5x-1)(x-1)$$

よって,  $\textcircled{1}$  を満たす整数  $n$  は存在しない。

[2]  $k = 4$  のとき  $f(x) = 5x^2 - 8x + 1$

グラフの軸の直線  $x = \frac{4}{5}$  に最も近い整数は1で,

$$f(0) = 1, f(1) = -2, f(2) = 5$$



よって,  $\textcircled{1}$  を満たす整数  $n$  は  $n=1$  のみである。

[3]  $k=5$  のとき  $f(x) = 5x^2 - 10x + 1$

グラフの軸は直線  $x=1$  で,

$$f(0) = 1, f(1) = -4, f(2) = 1$$

よって,  $\textcircled{1}$  を満たす整数  $n$  は  $n=1$  のみである。

[4]  $k \geq 6$  のとき

$$f(1) = 2(3-k) < 0, f(2) = 21-4k < 0$$

よって,  $\textcircled{1}$  を満たす整数  $n$  は2個以上ある。

[1] ~ [4] から, 求める  $k$  の値は  $k = 4, 5$

[3]

